

平成27年度生涯学習・社会教育総合調査研究事業

## 学習活動に関する県民の意識調査

### 報告書

平成28年 3月

青森県教育委員会



## はじめに

本県では少子高齢化と人口減少が急激に進行し、地域コミュニティの縮小が地域のつながりの希薄化につながるなど、大きな課題となっております。また、スマートフォンや携帯ゲームなどの急速な普及は、人々の価値観の多様化やライフスタイルの変化をもたらしています。

このような現状を踏まえ、この十数年のなかで県民の皆様の学習活動や社会参加活動、ボランティア活動に対する意識や実態がどのように変化しているのか、また、インターネットやゲームの利用が、学習活動等を行うにあたっての影響の有無などを把握するため、過去の調査をもとに、新たな質問項目を加えて調査を実施しました。

この報告書が、青森県が「生活創造社会」実現の具体像である2030年の「めざす姿」として掲げる、「県民が余暇を利用しての学習活動やボランティア活動などに積極的に取り組んで、地域と関わる活動を通して、誰もが生きる力を感じながら心豊かに暮らすことができる」社会の実現に向け、生涯学習・社会教育に係る各種の施策や事業構築の参考となれば幸いです。

最後になりましたが、調査対象者としてアンケートへの御回答をいただいた多くの県民の皆様に心から感謝し、厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

青森県教育庁生涯学習課

課長 児玉政光

# 目 次

## 第1章 調査の概要

1	調査の名称	1
2	調査の趣旨	1
3	調査対象	1
4	調査方法	1
5	回収結果	1
6	研究顧問	1
7	比較対象の過去調査概要	1

## 第2章 調査結果

1	回答者の属性	2
2	学習活動の状況、意欲、希望	4
3	情報との接点、インターネットやゲームの利用状況	12
4	地域活動、社会貢献活動、ボランティア活動の状況	18
5	行政への要望	24

## 第3章 考察

## 第4章 資料

1	単純集計結果表	36
2	調査票	45

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の名称

学習活動に関する県民の意識調査

## 2 調査の趣旨

少子高齢化が急速に進行する本県において、生涯学習支援体制の適切な構築と学習の成果を社会参加活動につなぐ方策に資するため、生涯学習・社会教育に関するニーズと意識を調査する。

調査の項目については、約10年間の県民の意識の変化を比較考察するため、平成15年度に青森県総合社会教育センターが実施した「生産者世代の学習環境のあり方に関する調査研究」及び平成22年度の「社会参加活動に関する県民意識の調査研究」の内容を基本とし、新たな項目も加えた。

## 3 調査対象

母集団 青森県内に在住の20歳以上70歳未満の一般県民  
標本数 3,000人

## 4 調査方法

上記母集団から無作為（男女バランス、地域バランス、年齢バランスは考慮）に抽出した方へ調査票を送付し、直接記入していただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、無記名で回収した。なお、調査対象者の抽出、調査票の印刷・発送・回収、調査結果の集計業務は、業者委託により実施した。

- ・調査業務委託先 株式会社みちのく計画
- ・調査票の発送 平成28年1月20日
- ・回答期限 平成28年2月3日までに投函

## 5 回収結果

有効回答数（率） 877人（29.23%）  
調査不能数（率） 2,123人（70.76%）  
－不能内訳－ 住所不明…11人（0.52%） 回答辞退連絡…5人（0.24%）  
白紙回答…1人（0.05%） 無反応…2,106人（99.19%）

## 6 研究顧問

- ・柏谷 至 氏（青森大学社会学部社会学科 教授、地域貢献センター長）
- ・松本 大 氏（弘前大学教育学部社会教育研究室 講師）

## 7 比較対象の過去調査概要

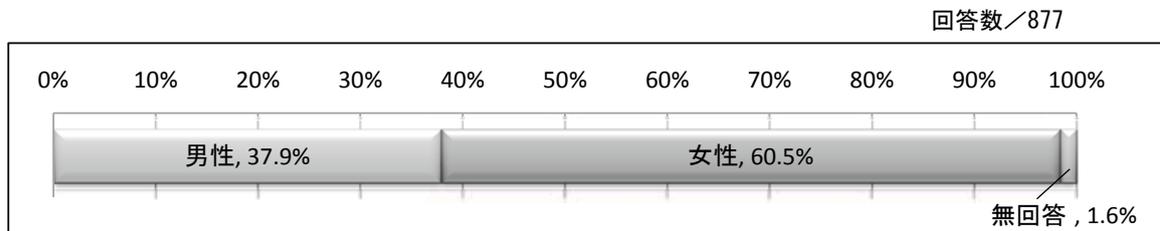
- (1) 平成15年度「生産者世代の学習環境のあり方に関する調査研究」
  - ①調査対象 20歳から60歳未満の一般県民（3,000人）
  - ②実施主体 青森県総合社会教育センター
  - ③実施時期 平成15年9月26日～10月17日
  - ④回収結果 有効回答数（率）…888人（29.6%）
- (2) 平成22年度「社会参加活動に関する県民意識の調査研究」
  - ①調査対象 青森県内の市町村に在住の20歳以上80歳未満の男女（3,000人）
  - ②実施主体 青森県総合社会教育センター
  - ③実施時期 平成22年8月5日～8月31日
  - ④回収結果 有効回答数（率）…1,148人（38.3%）

## 第2章 調査の結果

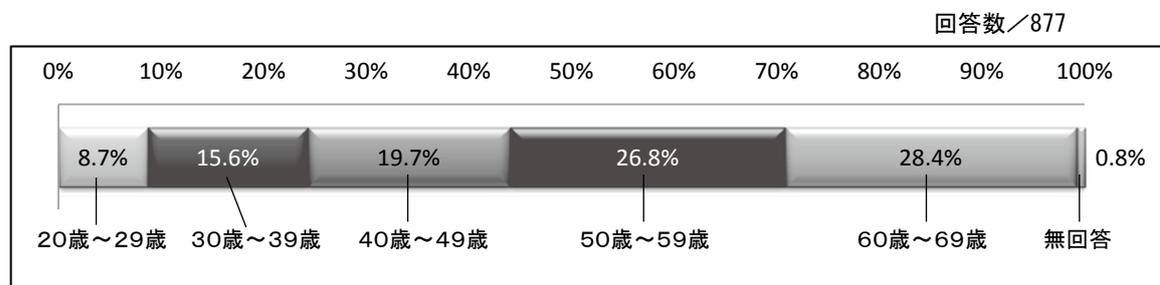
### 1 回答者の属性

問1 あなたの性別と年齢及びお住まいの地域を教えてください。

#### (1) 性別

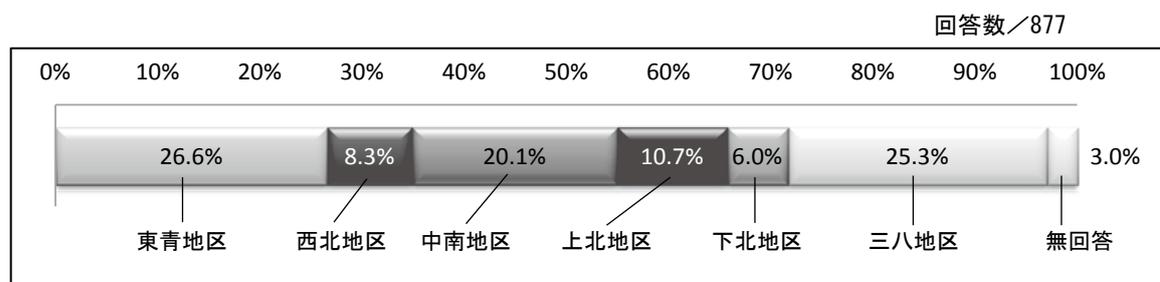


#### (2) 年齢層

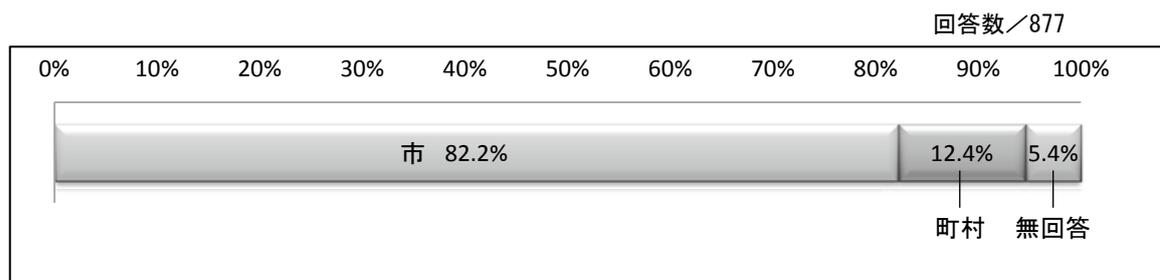


#### (3) お住まいの地域と区分

##### 【地区名】

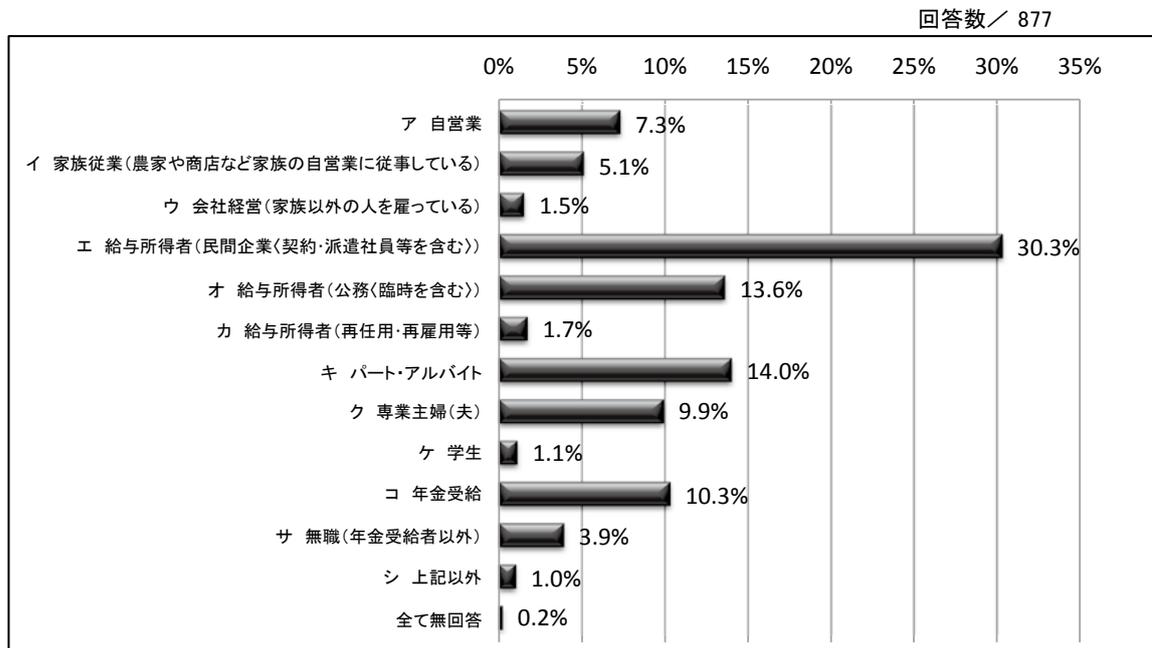


##### 【区 分】



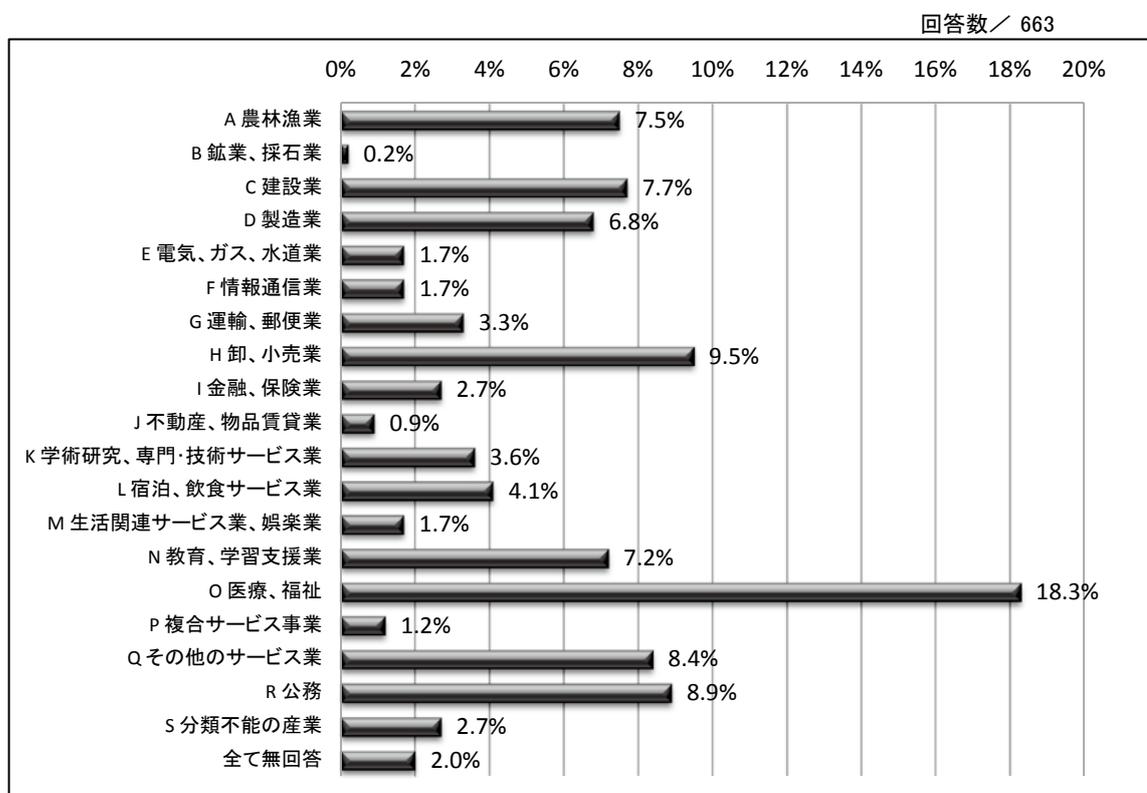
問2 あなたの仕事の内容とその分野、および最後に卒業した学校について教えてください。  
(いずれか1つに○)

【仕事の内容（職種）】



[上記以外] 年金 + 給与、就労継続支援

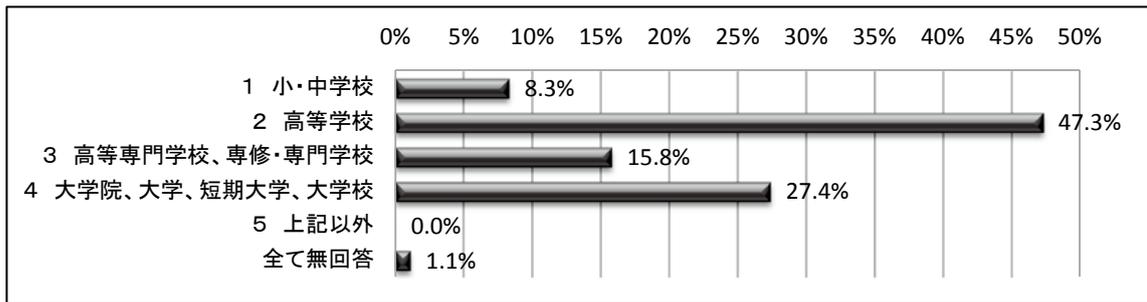
【仕事の分野（業種）】 (いずれか1つに○)



回答数は、職種の選択において、専業主婦(夫)、学生、年金受給、無職以外の方が回答している。

【最後に卒業した学校】（いずれか1つに○）

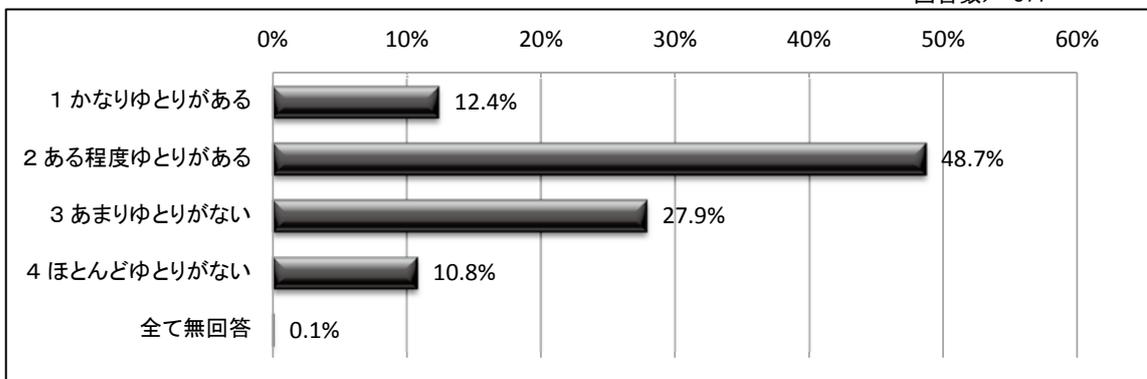
回答数 / 877



2 学習活動の状況、意欲、希望

問3 あなたは、好きなことをしたり、休んだりする時間的なゆとりがありますか。（いずれか1つに○）

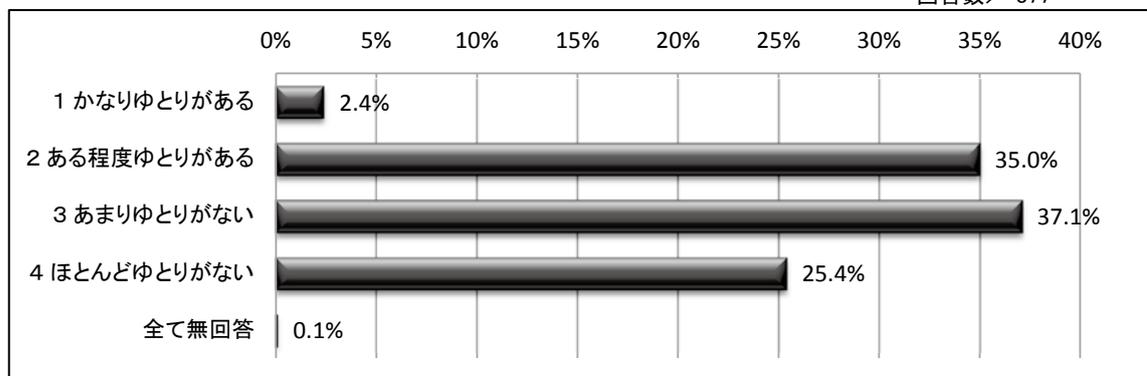
回答数 / 877



時間的なゆとりについては、「かなりゆとりがある」と「ある程度ゆとりがある」を合わせると61.1%が「ゆとりがある」と回答している。

問4 あなたは、仕事や家事、学業などのほかに、好きなことをするための経済的なゆとりがありますか。（いずれか1つに○）

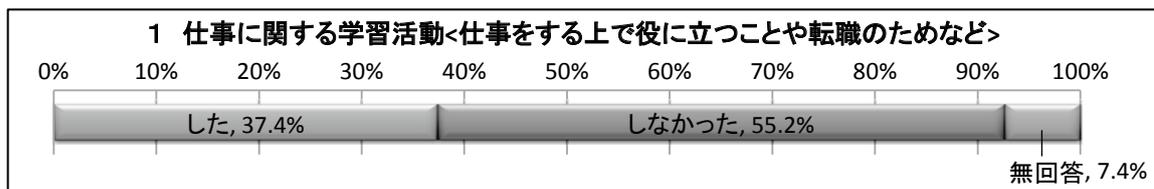
回答数 / 877



経済的なゆとりについては、「かなりゆとりがある」と「ある程度ゆとりがある」を合わせると37.4%が「ゆとりがある」と回答している。一方「あまりゆとりがない」と「ほとんどゆとりがない」を合わせると62.5%が「ゆとりがない」と回答している。

問5 あなたは、この1年間に学習活動をしましたか。次の1から5のそれぞれの分野ごとにお答えください。(どちらかに○)

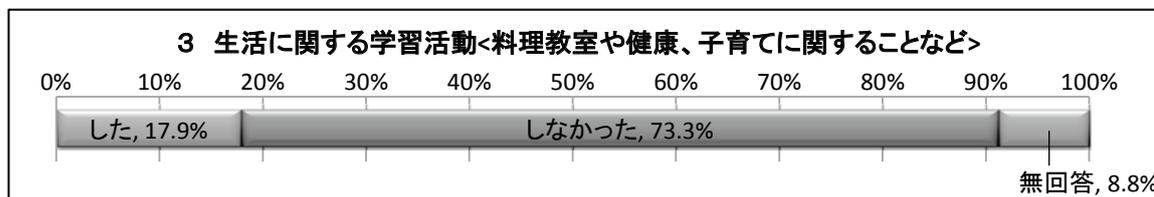
回答数/877



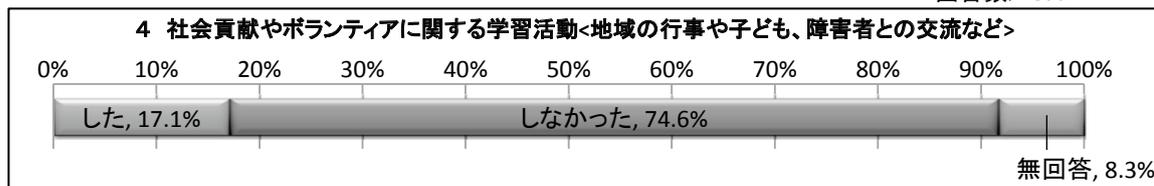
回答数/877



回答数/877



回答数/877



[5 その他の回答] 読書(2名)、町内のゴミステーションの清掃、チャイルドスポンサー、学校のねぶたの紙貼り、防犯活動、英語、生涯教育、母の介護(施設)、スポーツジム・ランニング

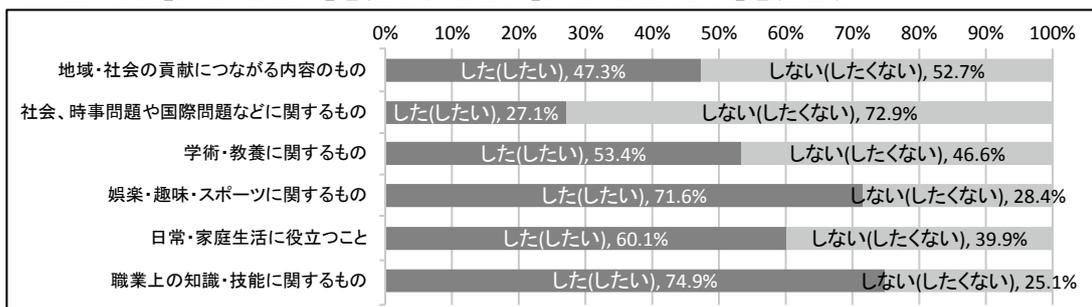
**※参考:平成15年度「生産者世代の学習環境のあり方に関する調査」より**

Q あなたは、この1年間に「学習活動」をしましたか。



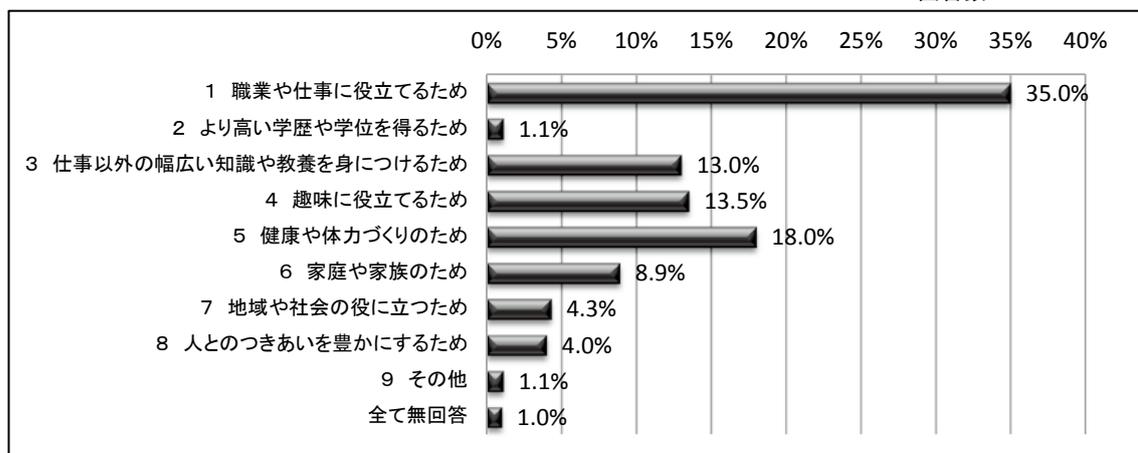
Q あなたがこの1年間に行なった「学習活動」の内容についてお答えください。〈前の質問で「しなかった」と答えた方は、するとしたらどのような内容の学習をしたいかについてお答えください。〉

※注:「した」には「したい」を含み、「しない」には「したくない」を含む。



問6 あなたがもっとも力を入れて行った学習活動の目的は何ですか。なお、この1年間に学習活動をしなかった方は、することを想像して答えてください。(いずれか1つに○)

回答数 / 877

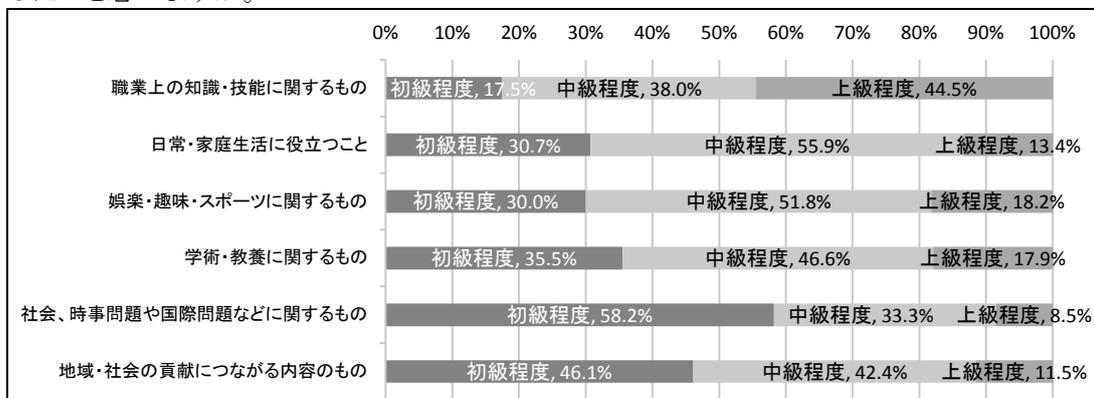


[その他の記述] なし (2名)、想像できない

もっとも力を入れて行った学習活動の目的については、「職業や仕事に役立てるため」が35.0%で最も多く、ついで「健康や体力づくりのため」18.0%、「趣味に役立てるため」13.5%が多くなっている。

**※参考:平成15年度「生産者世代の学習環境のあり方に関する調査」より**

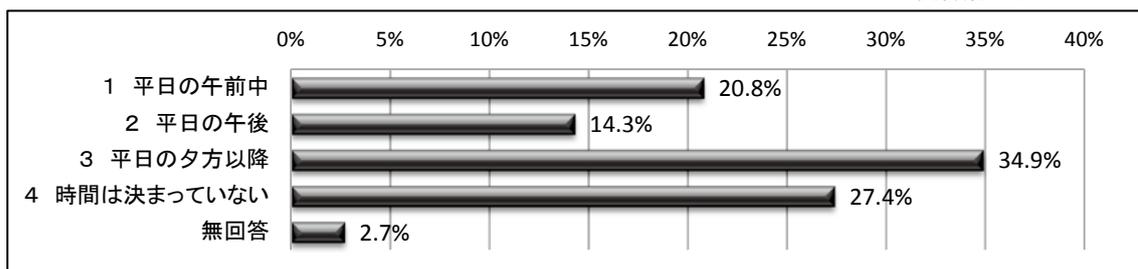
Q あなたは、前の質問(前ページ「※参考」)で答えた学習内容について、どの程度まで学習したいと思いますか。



問7 あなたが家の外で学習活動をするとしたら、どの時間帯が都合がいいですか。①、②についてお答えください。(それぞれ1つずつに○)

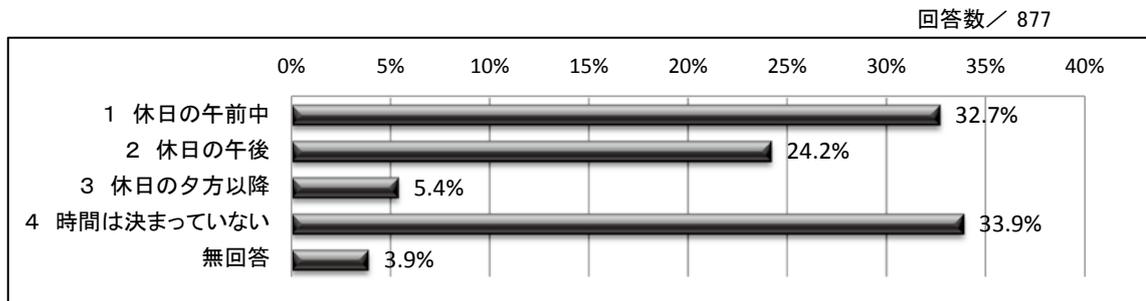
①平日の場合について

回答数 / 877



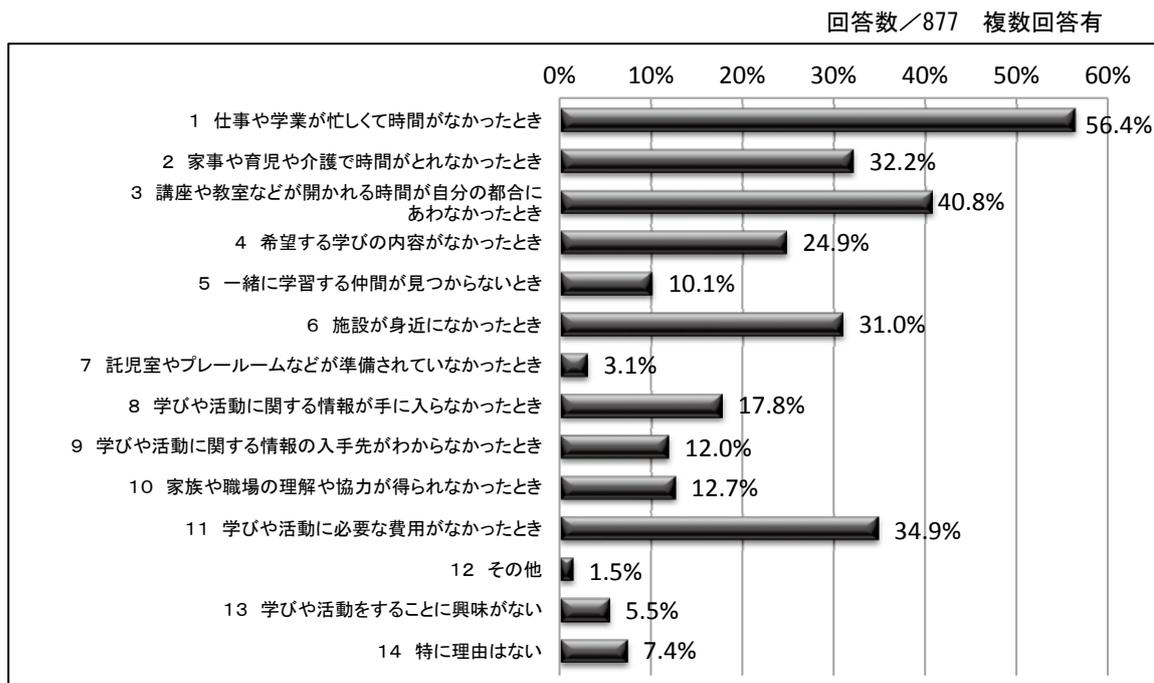
平日の場合に家の外で学習活動をするとしたら、どの時間帯が都合がいいかについては、「夕方以降」が34.9%で最も多く、ついで「午前中」が27.4%である。

## ②休日の場合について



休日の場合、家の外で学習活動をするとしたら、どの時間帯が都合がいいかについては、「時間は決まっていない」が33.9%、「午前中」が32.7%と多くなっている。

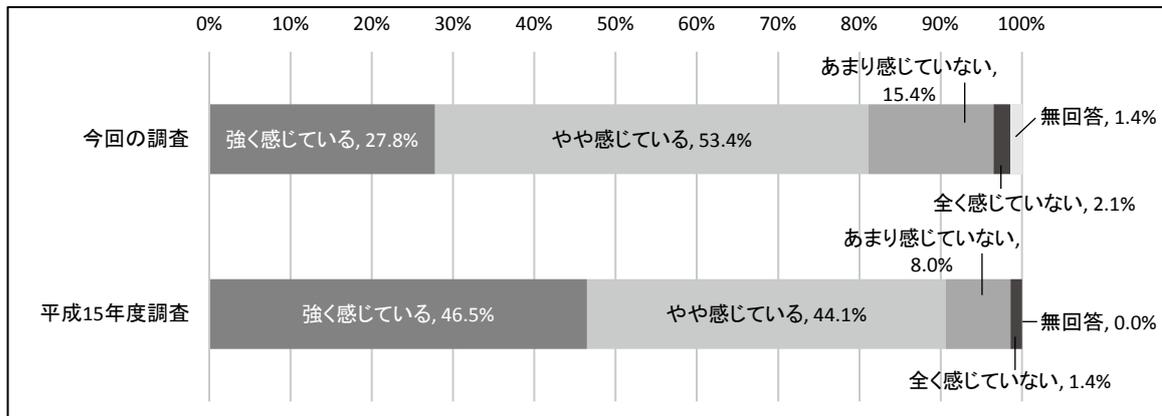
問8 ふだんの生活の中で学習活動ができないと感じるのは、どのような理由があるときですか。  
(あてはまるものすべてに○)



[その他の記述] 病気でできない、体調がいまいち、町会業務やその他の用件が多いため、仕事や家事で忙しくて体力が足りなかったとき、家事、仕事で疲れ学習活動をする体力的余裕がない、車を持ってないので近所以外はいけない、除雪など（青森では特に時間を削られる）、時間とお金がない、やる気が起こらない

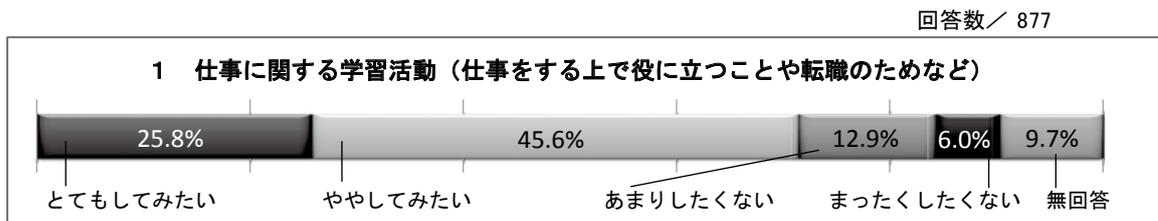
ふだんの生活の中で学習活動ができないと感じる理由については、「仕事や学業が忙しくて時間がなかったとき」が56.4%で最も多く、ついで「講座や教室などが開かれる時間が自分の都合にあわなかったとき」40.8%、「学びや活動に必要な費用がなかったとき」34.9%である。

問9 あなたは、ご自分の人生を豊かにするために、もっとこんな技術を身に付けたい、もっとこんなことを知りたいと感じることがありますか。(いずれか1つに○)



「強く感じている」と「やや感じている」を合わせると81.2%が「感じている」と回答している。

問10 あなたが今後、学習活動をする場合、次の1から5のそれぞれについて、どの程度してみたいと思いますか。(それぞれ4段階のうち1つに○)



回答数 / 877



回答数 / 877



〔「5 その他」のうち、「とてもしてみたい」と「ややしてみたい」の記述〕

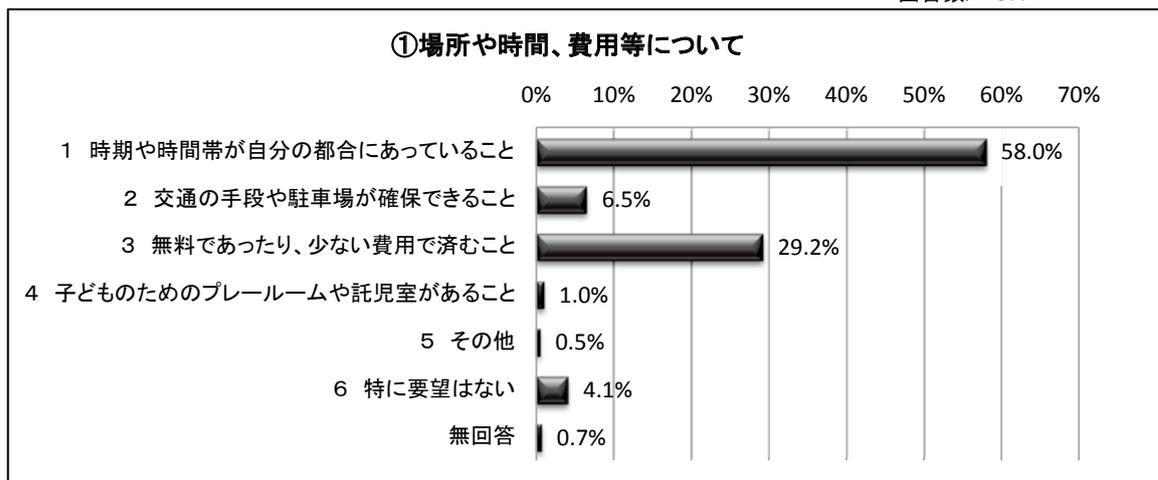
〔とてもしてみたい〕：「語学」、「英語」、「語学・生活体験の海外ステイ」、「色々、見聞を広められる様な機会を持ちたい」、「社会体験、資格取得、自己変革」、「福祉・医療の連携現場の講習・資格」、「伝統文化」

〔ややしてみたい〕：「教養・コミュニケーション能力等」、「図書館での学習活動」、「資格取得」、「地方の歴史の学習」、「政治に関する学習」、「健康や体力づくり」

問11 あなたが家の外での学習活動に参加する場合に、重視することは何ですか。①、②、③についてそれぞれお答えください。（それぞれ1つずつに○）

問11-①場所や時間、費用等について

回答数 / 877

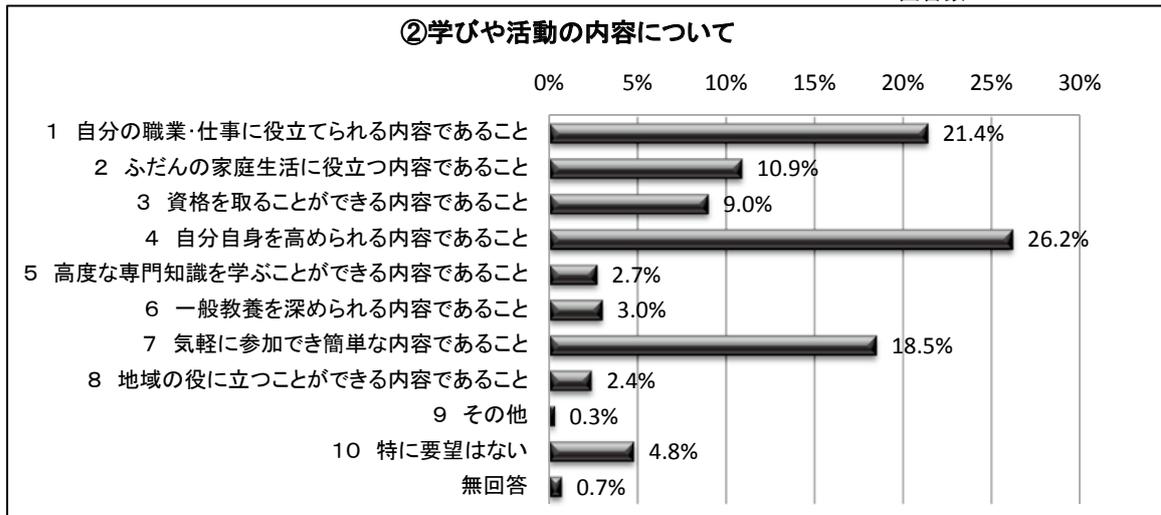


〔その他の記述〕 ICT活用

場所や時間、費用等については「時期や時間帯が自分の都合に合っていること」が58.0%で最も多く、ついで「無料であったり、少ない費用で済むこと」が29.2%である。

問11-②学びや活動の内容について

回答数 / 877

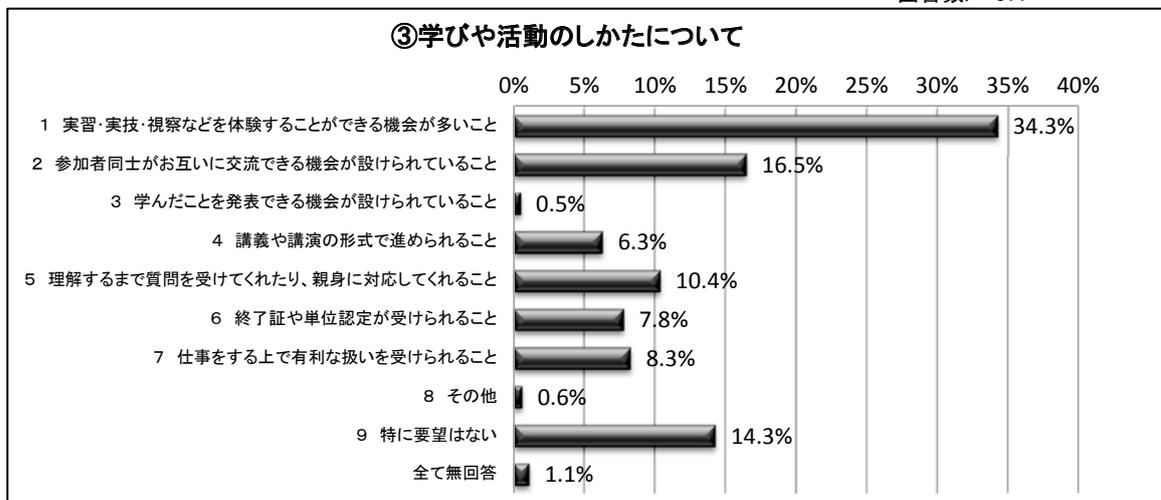


[その他の記述] 子どもも一緒に参加できること、自分の好奇心を満たすもの、精神的カウンセリング

学びや活動の内容については「自分自身を高められる内容であること」が26.2%で最も多く、ついで「自分の職業・仕事に役立てられる内容であること」21.4%、「気軽に参加でき簡単な内容であること」18.5%である。

問11-③学びや活動のしかたについて

回答数 / 877



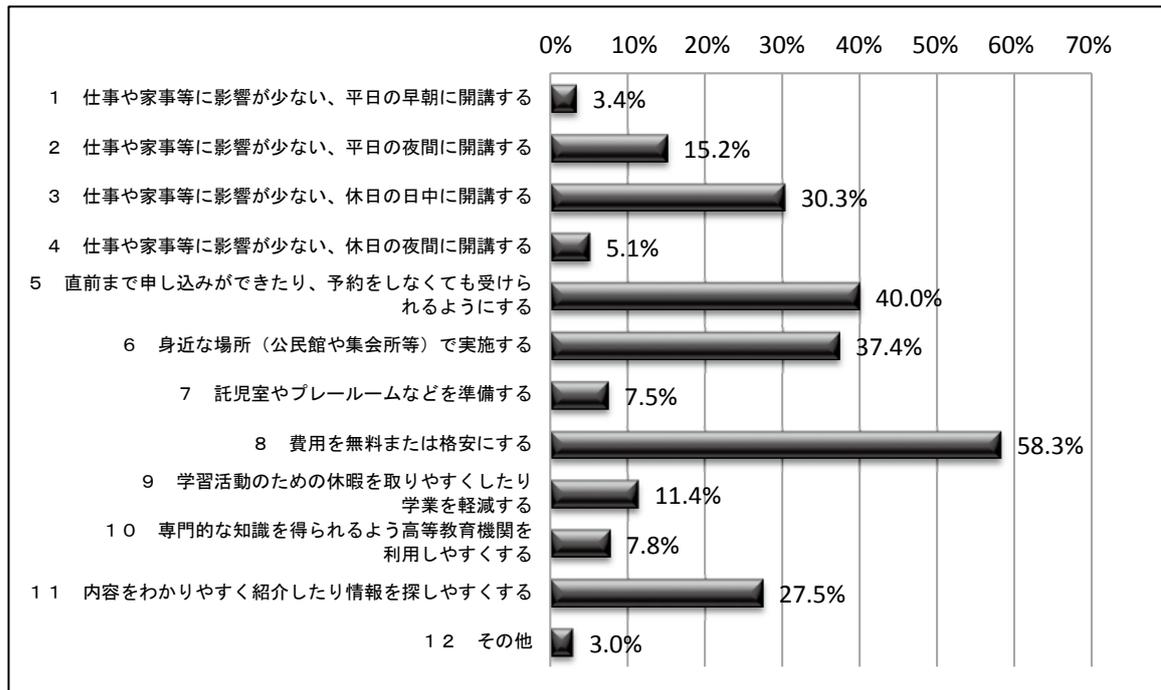
[その他の記述]

- ・都合のつく日を自身で選べること
- ・学習しやすい環境が整った場所
- ・時間をかけず一番の処を学べる
- ・基本的に自己研鑽
- ・就職先への支援、斡旋

学びや活動のしかたについては、「実習・実技・視察などを体験することができる機会が多いこと」が34.3%で最も多く、ついで「参加者同士がお互いに交流できる機会が設けられていること」16.5%、「特に要望はない」14.3%が多い。「学んだことを発表できる機会が設けられていること」は0.5%で少数となっている。

問12 あなただけに限らず、多くの方々が講座や教室などの学習活動に参加するようになるためには、どのような仕組みがあればよいと思いますか。(○は3つまで)

回答数/877 複数回答有



[その他の記述]

- ・ 保育園がやっている土曜日の日中
- ・ 年齢制限なく参加できること
- ・ 通信講座
- ・ 親子で受講できるもの
- ・ 初めてでも気軽に参加しやすい
- ・ ネットでの配信
- ・ 合唱団3団体に所属している、コンサートホールが足りなくて困っている。
- ・ 有料駐車場の場合、受講者の料金を考慮してくれるとよい。
- ・ 若い世代(15~25才)くらいが美術館等に行く時学生でなくても料金を安くしてほしい。
- ・ 収入面が多くなれば自然に増えるのでは。生活の為時間が取れない人が多い現状ではないか。
- ・ 少人数短時間多岐にわたる内容とレベルから選べる。継続して望む結果に結びつける仕組み。
- ・ その日1日だけではなく、数日間、色々な時間のパターンあれば良いと思う。
- ・ 知識ある一般の方が講座や教室を開催しやすくし、幅広い学習活動ができるようにする。
- ・ 具体的なメリットを実感できる仕組み。学習の価値を高めなければならない。
- ・ 仕事に関する学習活動を勤務時間内に設けてほしい。
- ・ 子どもに習い事をさせたいので、教室までの送迎を充実させる。

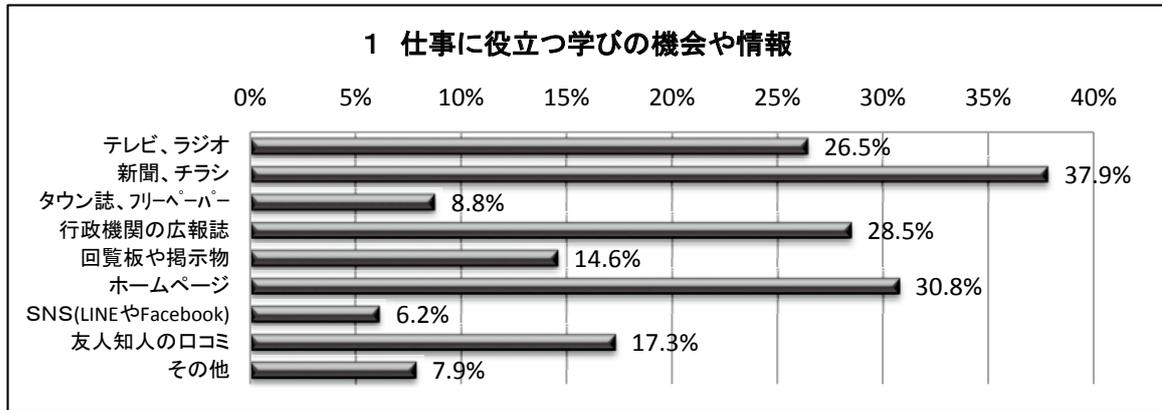
学習活動に参加しやすくする仕組みについては、「費用を無料または格安にする」が最も多く58.3%、つぎに「直前まで申し込みができたり、予約をしなくても受けられるようにする」40.0%、「身近な場所（公民館や集会所等）で実施する」37.4%、「仕事や家事等に影響が少ない、休日の日中に開講する」30.3%である。

### 3 情報との接点、インターネットやゲームの利用状況

問13 あなたは、次の1から5に関して、学んだり楽しんだりするために、どこから情報を手に入れていますか。(〇はいくつでも)

#### 問13-1 仕事に役立つ学びの機会や情報

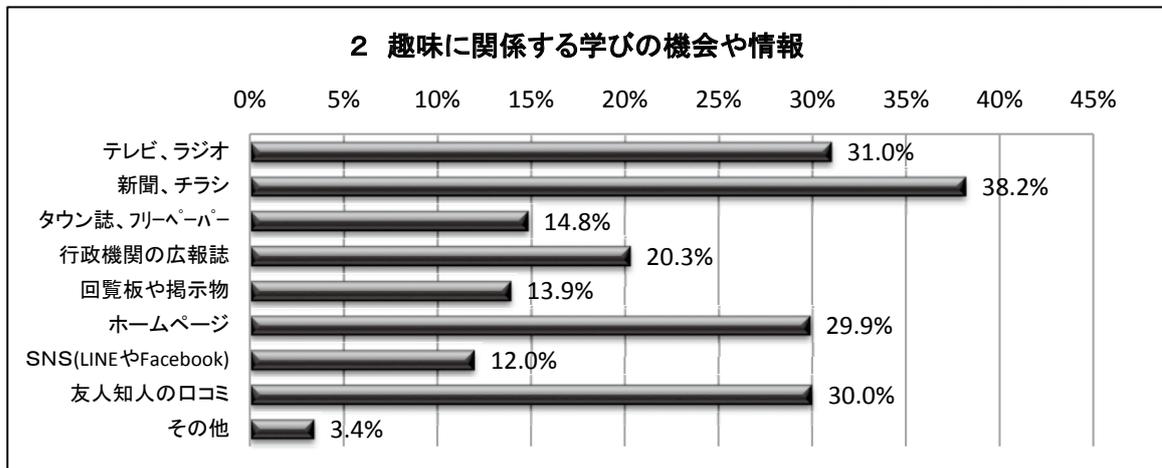
回答数/877 複数回答有



仕事に役立つ学びの機会や情報の入手先は「新聞、チラシ」が37.9%で最も多く、ついで「ホームページ」30.8%、「行政機関の広報誌」28.5%が多い。「SNS(ラインやフェイスブック)」6.2%、「タウン誌、フリーペーパー」8.8%は少数である。

#### 問13-2 趣味に関係する学びの機会や情報

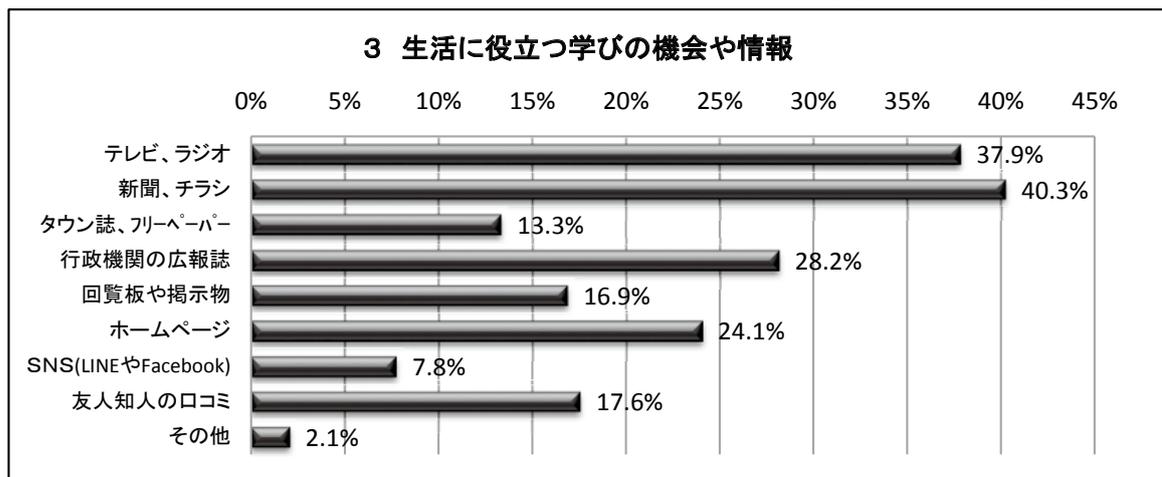
回答数/877 複数回答有



趣味に関係する学びの機会や情報の入手先は、「新聞、チラシ」が38.2%で最も多く、ついで「テレビ、ラジオ」31.0%、「友人知人の口コミ」30.0%、「ホームページ」29.9%が多い。

問13-3 生活に役立つ学びの機会や情報

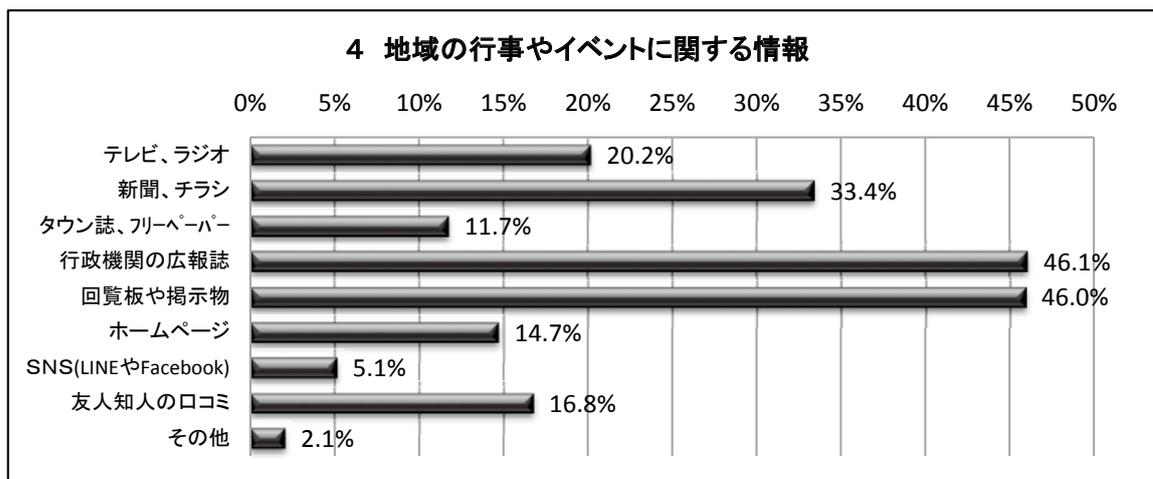
回答数/877 複数回答有



生活に役立つ学びの機会や情報の入手先は、「新聞、チラシ」が40.3%で最も多く、ついで「テレビ、ラジオ」37.9%、「行政機関の広報誌」28.2%が多い。SNS（ラインやフェイスブック）7.8%は少数である。

問13-4 地域の行事やイベントに関する情報

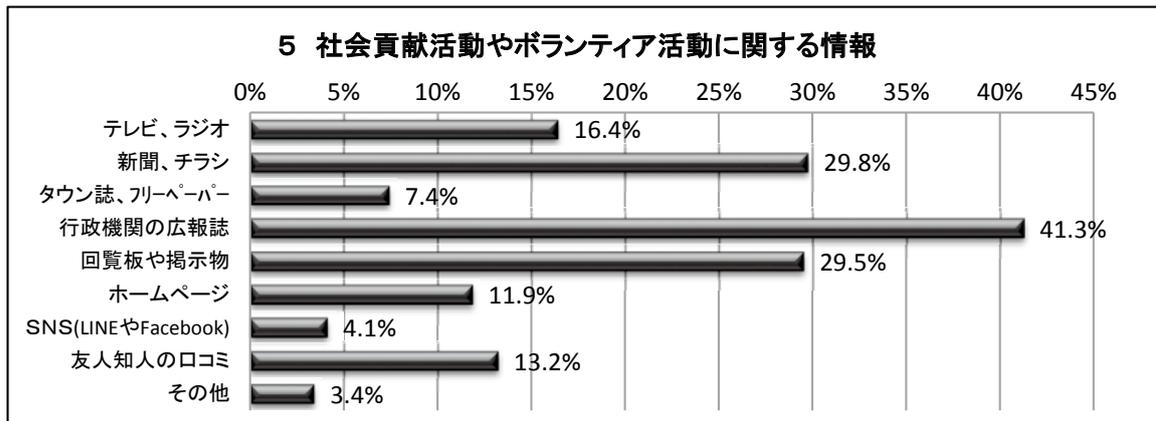
回答数/877 複数回答有



地域の行事やイベントに関する情報の入手先は、「行政機関の広報誌」46.1%、「回覧板や掲示物」46.0%と多く、ついで「新聞、チラシ」33.4%、「テレビ、ラジオ」20.2%が多い。「SNS（ラインやフェイスブック）」5.1%は少数である。

問13-5 社会貢献活動やボランティア活動に関する情報

回答数/877 複数回答有

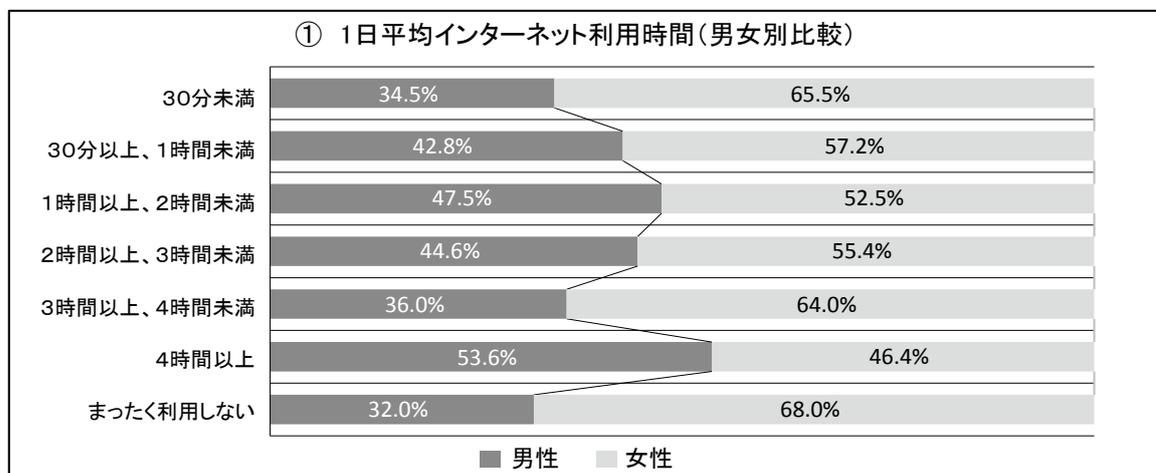
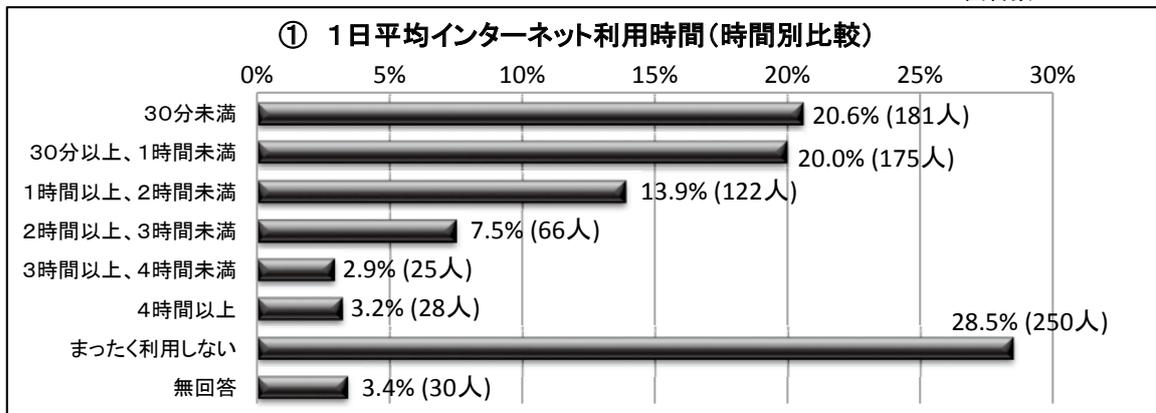


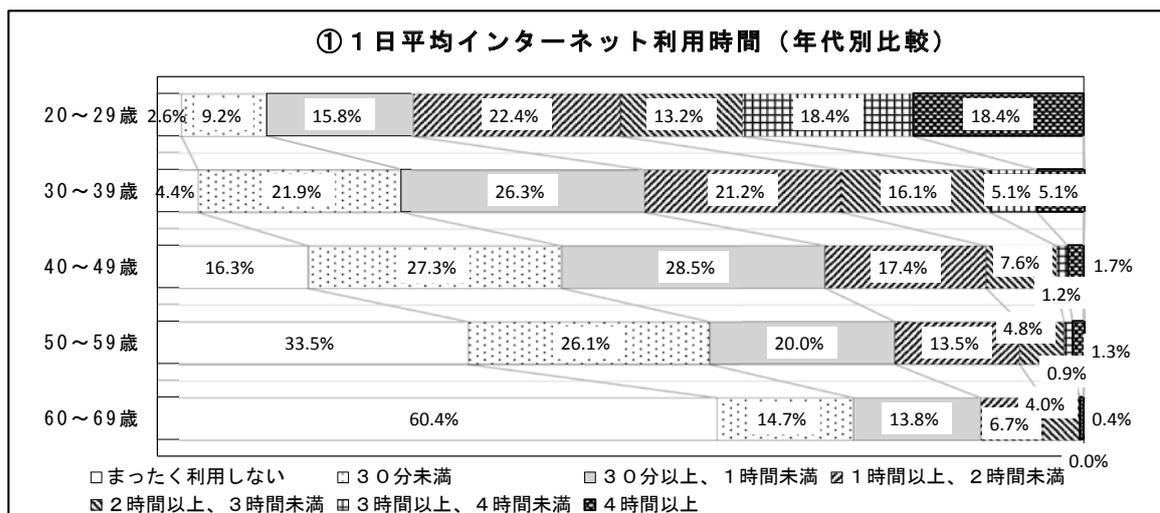
社会貢献活動やボランティア活動に関する情報の入手先は、「行政機関の広報誌」が41.3%で最も多く、ついで「新聞、チラシ」29.8%、「回覧板や掲示物」29.5%が多い。「SNS（ラインやフェイスブック）」4.1%、「タウン誌、フリーペーパー」7.4%は少数である。

問14 あなたは、ふだんの生活の中でスマートフォンやパソコン(タブレット型端末等を含む)、ゲーム機などを使用してインターネットを利用したり、ゲームをして楽しんだりしていますか。また、これらを利用するため、以前と比べて少なくなった時間はありますか。

問14-① 1日平均インターネット利用時間 (○はひとつだけ)

回答数/877





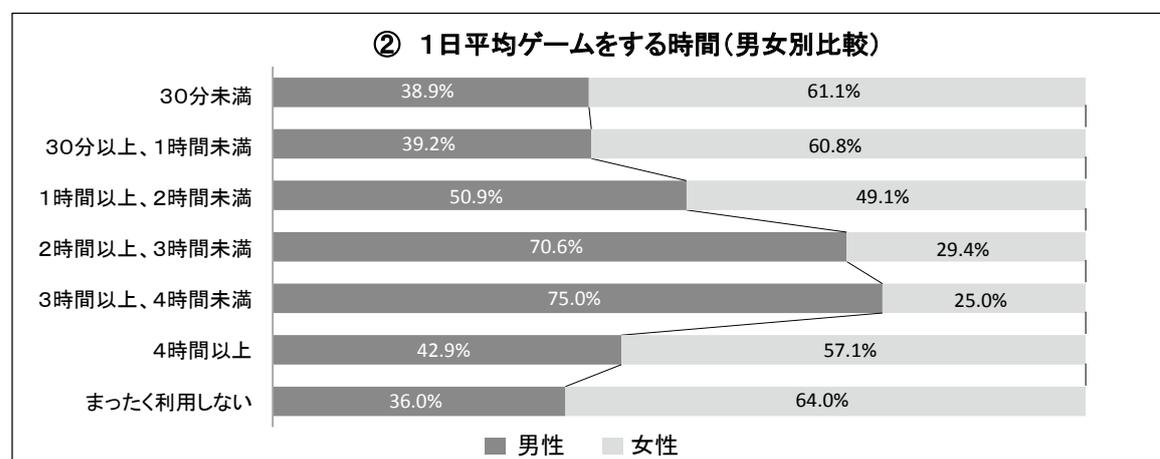
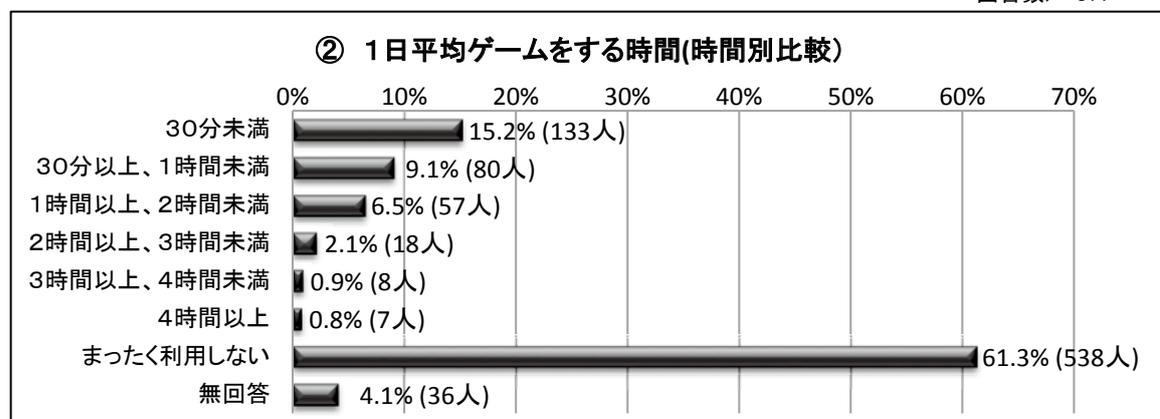
ふだんの生活の中での1日平均インターネット利用時間については、時間別に比較すると「まったく利用しない」が28.5%で最も多いが、利用者の中では「30分未満」が20.6%、「30分以上、1時間未満」が20.0%と多くなっている。

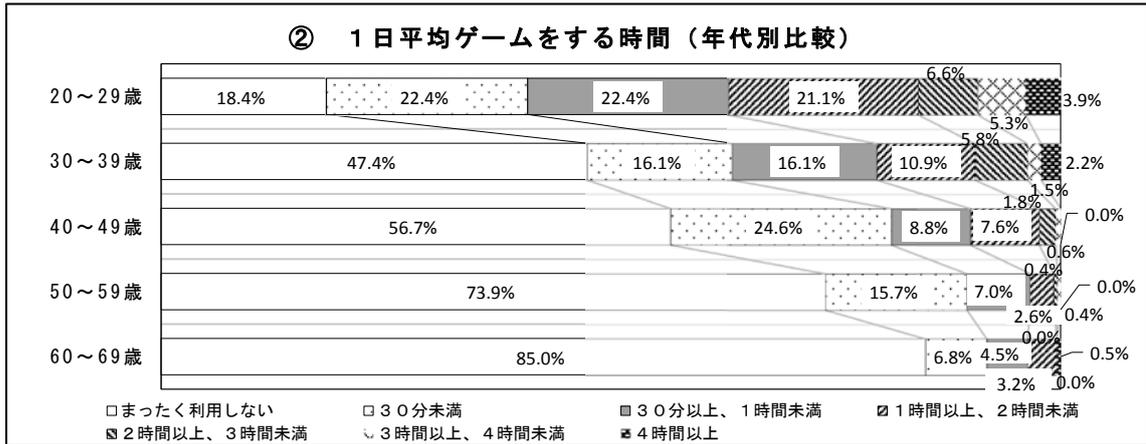
男女別の比較では、「4時間以上」利用していると回答したのは男性の方が多く、それ以外の利用時間では女性の方が多くなっている。

年代別の比較では、20～29歳の方は利用時間が分散しているが、年齢層が上がるにつれて長時間利用者が減少するとともに、「まったく利用しない」割合が増加している。

### 問14-② 1日平均ゲームをする時間（○はひとつだけ）

回答数 / 877





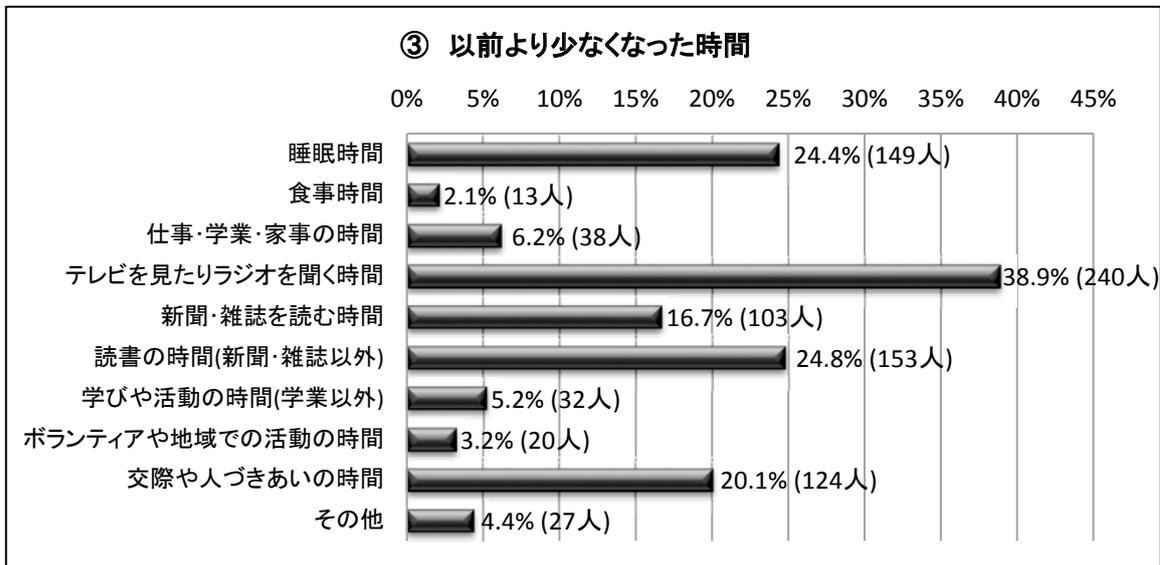
ふだんの生活の中での1日平均ゲーム利用時間については、時間別に比較すると「まったく利用しない」が61.3%と突出しているが、ゲームをする方の中では「30分未満」が15.2%であるが、それ以外の利用時間はいずれも少数である。

男女別の比較では、1時間から4時間の利用時間帯で男性の方が多く、それ以外の利用時間と「まったく利用しない」では女性の方が多くなっている。

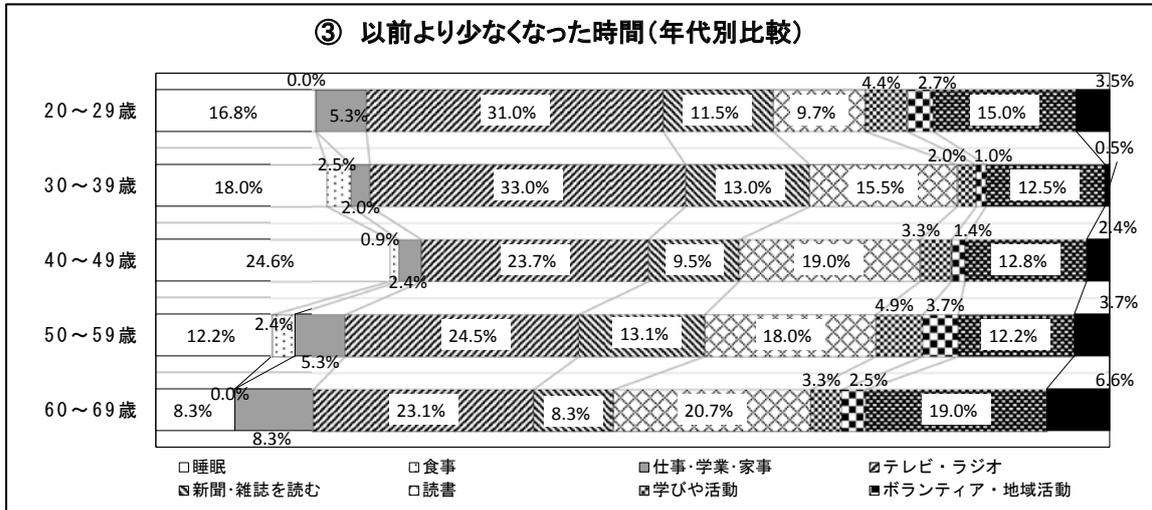
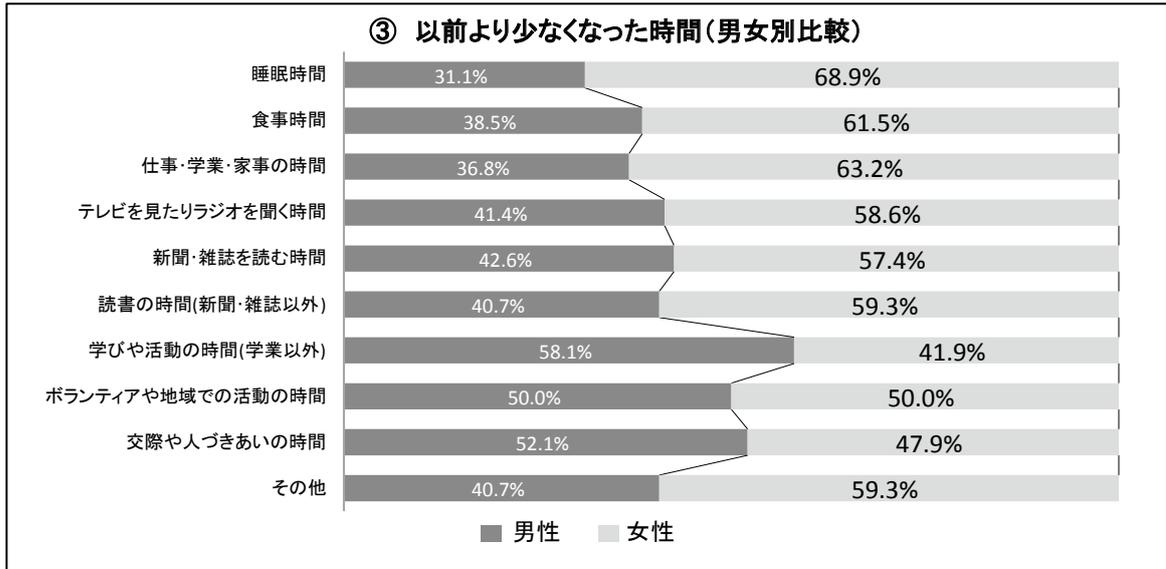
年代別の比較では、年齢層が上がるにつれて利用時間が減少するとともに、「まったく利用しない」割合が増加している。

問14-③ 以前より少なくなった時間（○は2つまで）

回答数 / 186 複数回答有



[その他の記述] 少なくなった時間はない（19名）、外で買い物をする時間、暇な時間



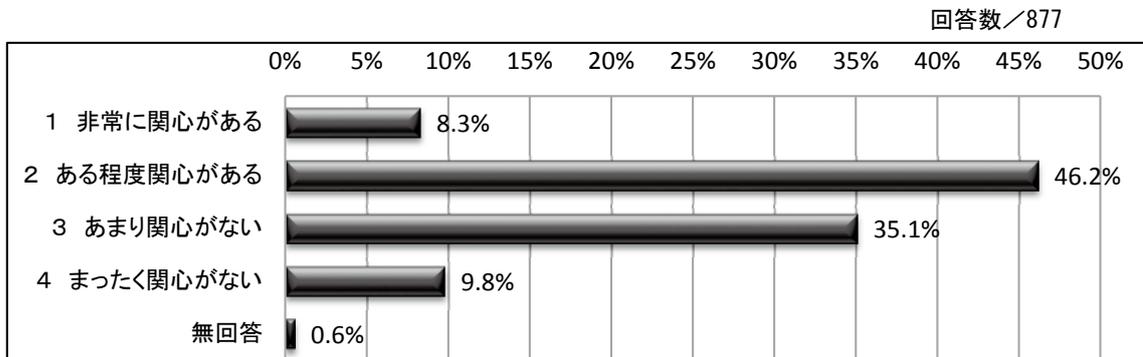
インターネットを利用したり、ゲームをしたりして、以前より少なくなった時間については、「テレビを見たりラジオを聞く時間」が38.9%で最も多く、ついで「読書の時間（新聞・雑誌以外）」24.8%、「睡眠時間」24.4%、「交際や人づきあいの時間」20.1%が多い。「食事時間」2.1%、「ボランティアや地域での活動の時間」3.2%が少数となっている。

男女別の比較では、「学びや活動の時間（学業以外）」、「ボランティアや地域での活動の時間」、「交際や人づきあいの時間」が少なくなったと答えたのは男性の方が多く、それ以外の項目は女性の方が多くなっている。

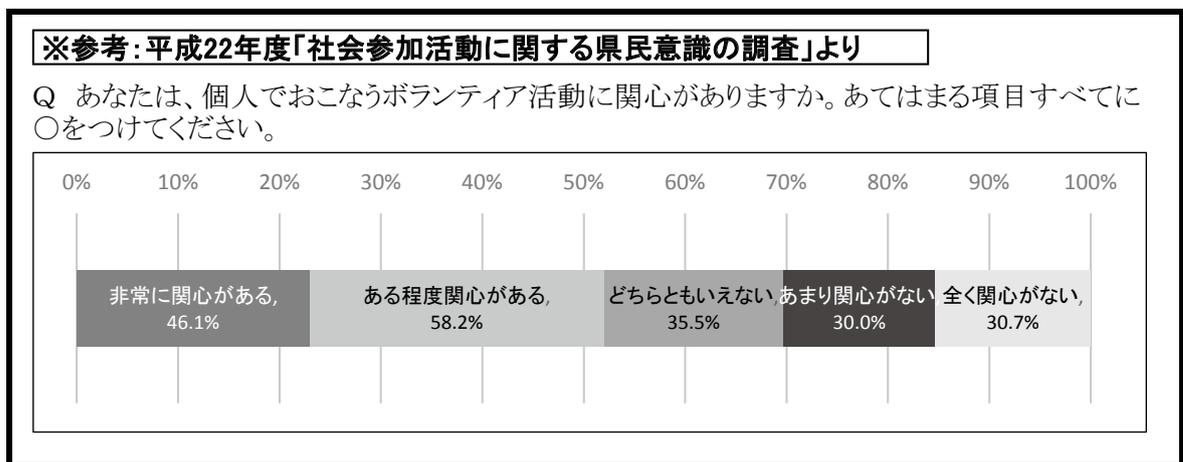
年代別の比較では、「睡眠時間」が少なくなっていると回答したのは「40～49歳」が24.6%、「60～69歳」が8.3%でその差が大きく、年齢層が低いほど割合が高い傾向がある。これとは反対に、「読書の時間（新聞・雑誌以外）」では、「60～69歳」が20.7%、「20～29歳」が9.7%でその差が大きく、年齢層が高いほど割合が高い傾向がある。

#### 4 地域活動、社会貢献活動、ボランティア活動の状況

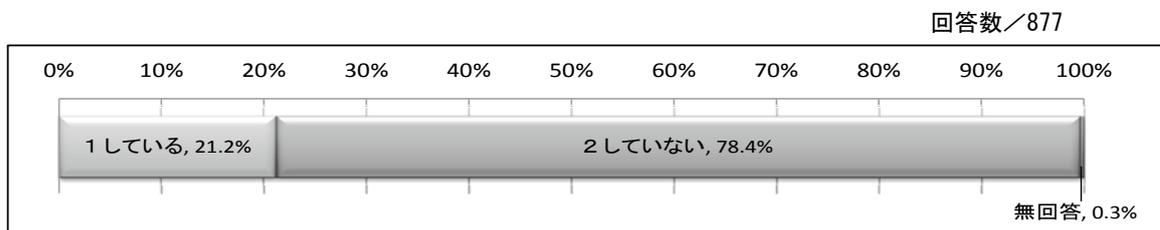
問15 あなたは、仕事以外のボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動などに関心がありますか。(いずれか1つに○)



仕事以外のボランティアや地域での活動等に関する関心については、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると、54.5%が「関心がある」と回答している。



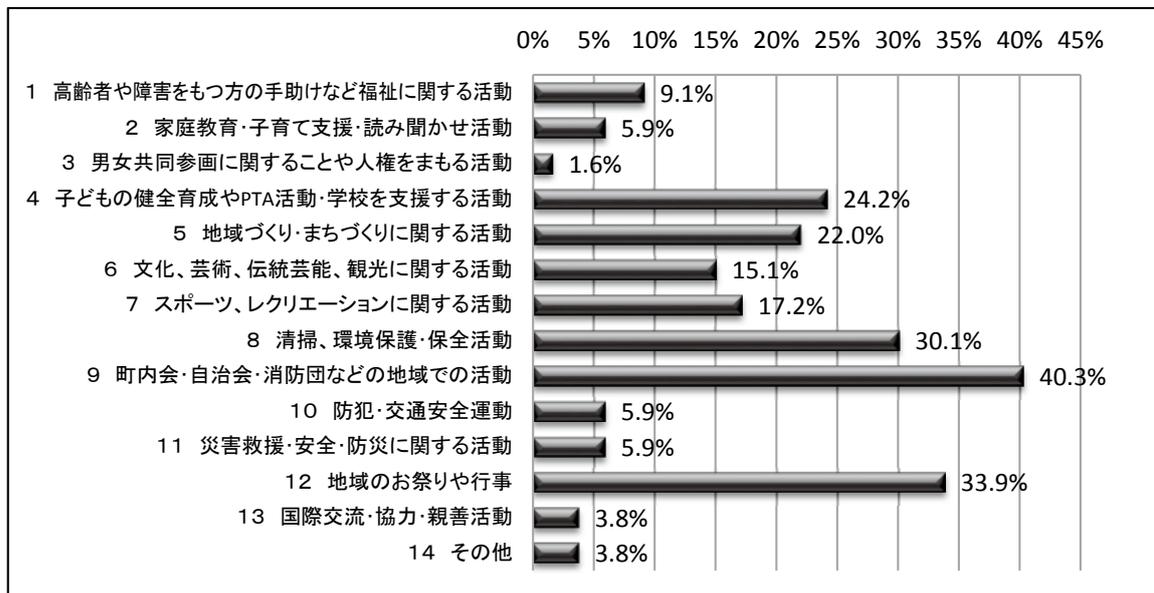
問16 あなたは、仕事以外でボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動などをしていますか。(いずれか1つに○)



仕事以外のボランティアや地域での活動等に関する関心については、「している」と回答したのは21.2%、「していない」と回答したのは78.4%である。

問17 あなたは、仕事以外で、どのようなボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○) <問16で「1している」に○の方だけ>

回答数/186 複数回答有

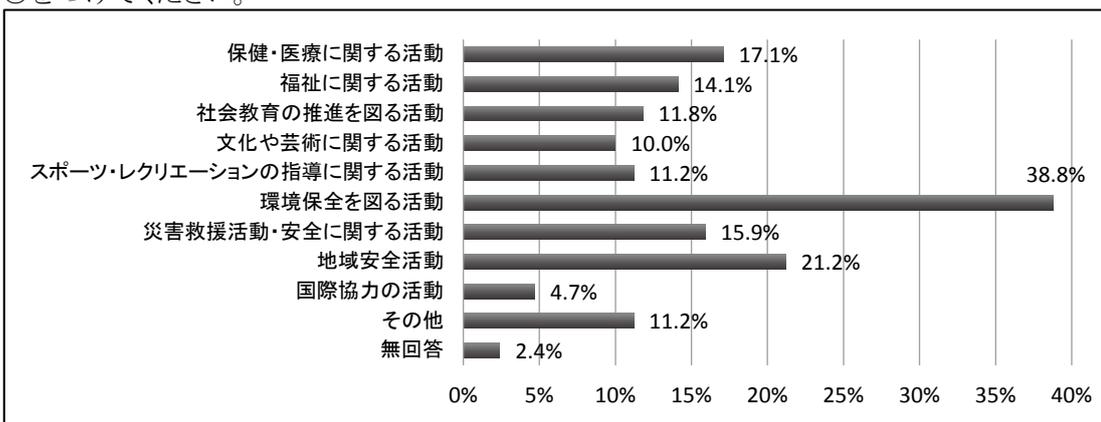


[その他の記述] 献血（3名）、電話相談・いのちの電話、捨て犬や野良猫等の保護活動、募金・病気のある人達への支援、休日仕事以外での職場活動

仕事以外の活動については、「町内会・自治会・消防団などの地域での活動」が40.3%で最も多く、ついで「地域のお祭りや行事」33.9%、「清掃、環境保護・保全活動」30.1%である。

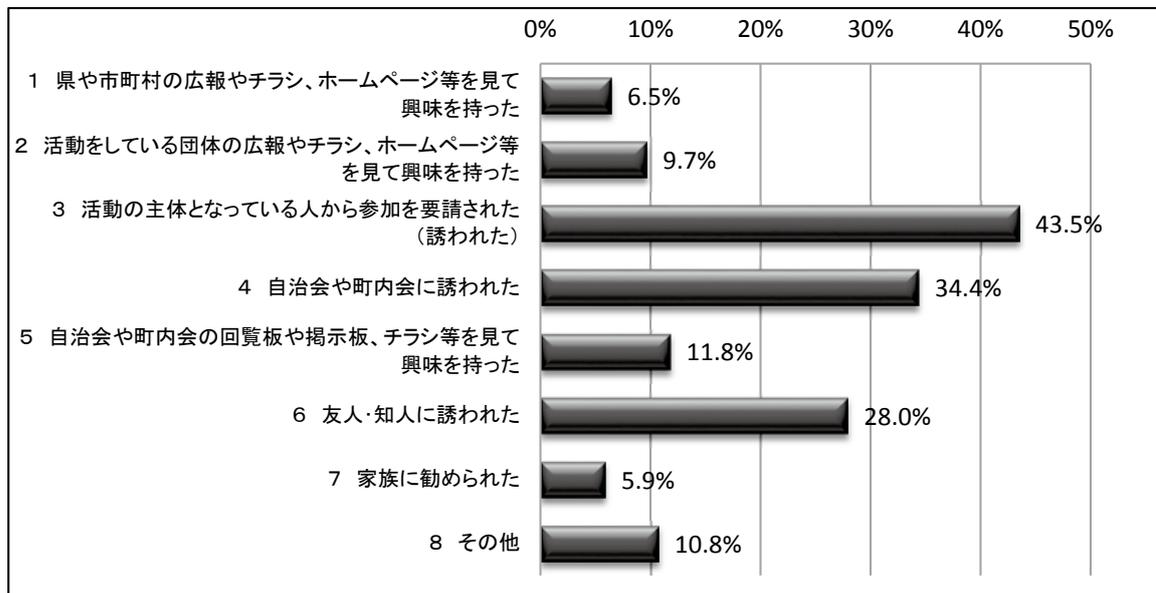
**※参考：平成22年度「社会参加活動に関する県民意識の調査」より**

Q あなたは、個人でおこなうボランティア活動に関心がありますか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



問18 ボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動に参加したきっかけはなんですか。(あてはまるものすべてに○) <問16で「1している」に○の方だけ>

回答数/186 複数回答有



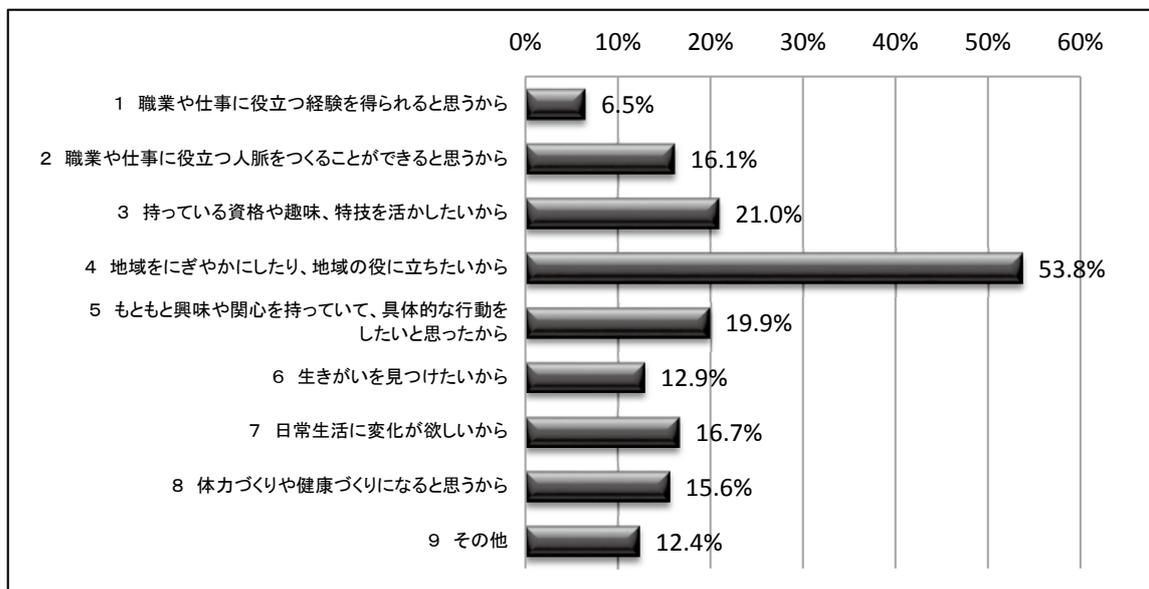
[その他の記述]

- ・ 自主的に参加 (3名)
- ・ 自分の子どもが関わっているのに関連して
- ・ 学校行事のお手伝い (PTA) なので必要性を感じた
- ・ 自ら都合に合うものを探して
- ・ 時間もお金もないし、自分が出来る事がこれくらいしかない
- ・ 大学の掲示板を見て興味を持った
- ・ 周囲の環境、家族に障がい者がでたため
- ・ 地域の代表であるため
- ・ 子どもが小学生のため、学校での廃品回収などに協力
- ・ 子どもがスポーツに関わることになり指導や援助することになった
- ・ PTAで選ばれたから
- ・ そもそも生活の一部として
- ・ 仕事の関係で
- ・ 商品や目的がいいなと思ったから

活動に参加したきっかけについては、「活動の主体となっている人から参加を要請された(誘われた)」が43.5%で最も多く、ついで「自治会や町内会に誘われた」34.4%、「友人・知人に誘われた」28.0%が多くなっている。

問19 あなたがボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動に参加している目的はなんですか。(あてはまるものすべてに○) <問16で「1している」に○の方だけ>

回答数/186 複数回答有



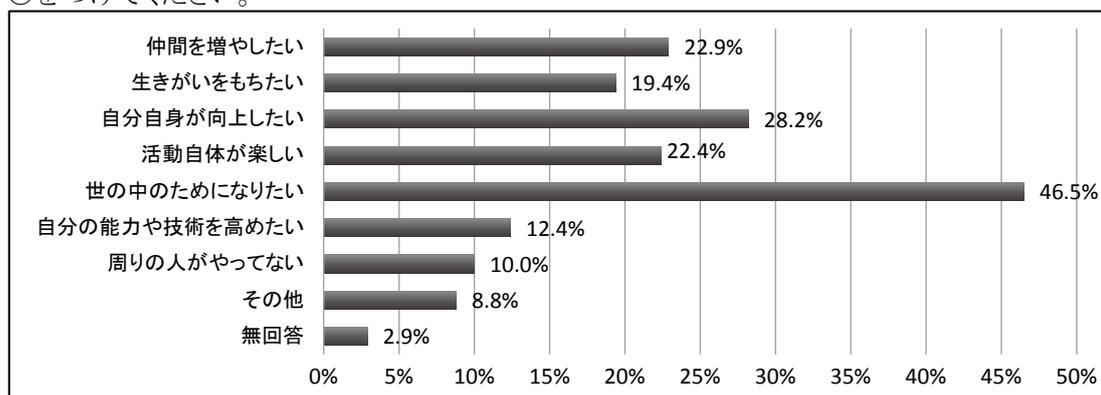
[その他の記述]

- ・少しでも手助けになれば良いと思ったから
- ・お互いさまのお手伝い
- ・人の為、力になりたい為、助け合いと思うから
- ・家族のように、病気により障害を持つ方、不自由になる方が少なくなることを願って
- ・社会奉仕
- ・自分が楽しいから
- ・町内清掃は大事だから
- ・子どもの為
- ・学校行事が無事終了するのに協力したいから
- ・子どもと過ごす時間を作るため
- ・地域の人とのつながりをスムーズにするため
- ・犬猫の殺処分を減らしたいから
- ・子どもと参加できるから
- ・郊外なので草取り、花植え、用水路整備の要請がくる
- ・保全会等の場合、半強制的な参加を要す場合もあり、仕方なく

活動に参加している目的については、「地域をにぎやかにしたり、地域の役に立ちたいから」が53.8%で最も多く、ついで「持っている資格や趣味、特技を活かしたいから」21.0%、「もともと興味や関心を持っていて、具体的な行動をしようと思ったから」19.9%が多い。「職業や仕事に役立つ経験を得られると思うから」は6.5%と少数であった。

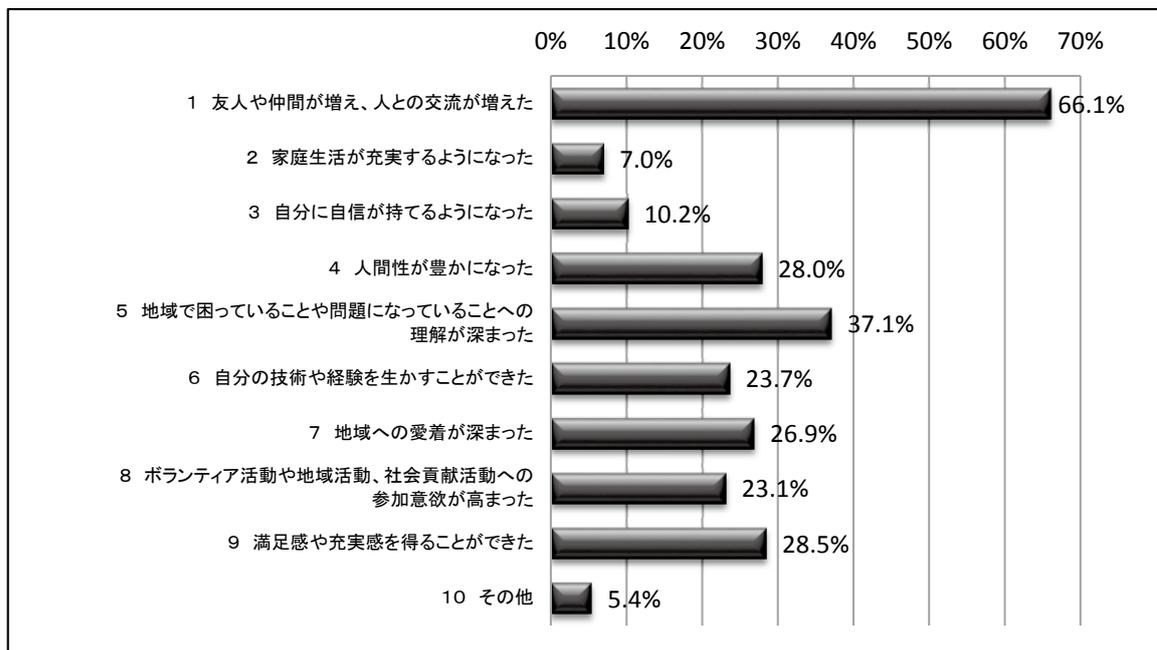
※参考:平成22年度「社会参加活動に関する県民意識の調査」より

Q あなたは、個人でボランティア活動をしている目的は何ですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



問20 あなたは、ボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動をして、どのような成果を得られましたか。(あてはまるものすべてに○) <問16で「1している」に○の方だけ>

回答数/186 複数回答有

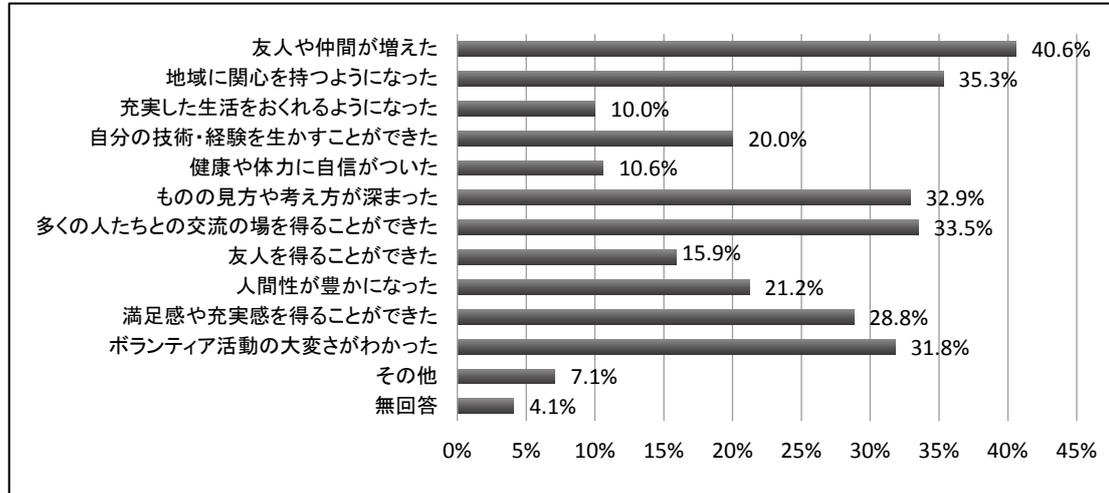


[その他の記述] やっている事、病気の内容等により理解を深めることができた、町内の環境が良くなる、子供と共通の趣味が持てた、ストレスの発散、家庭の時間が少なくなった、特になし、苦痛

活動により得られた成果については、「友人や仲間が増え、人との交流が増えた」が66.1%で最も多く、次いで「地域で困っていることや問題になっていることへの理解が深まった」37.1%である。「家庭生活が充実するようになった」7.0%、「自分に自信が持てるようになった」10.2%は少数であった。

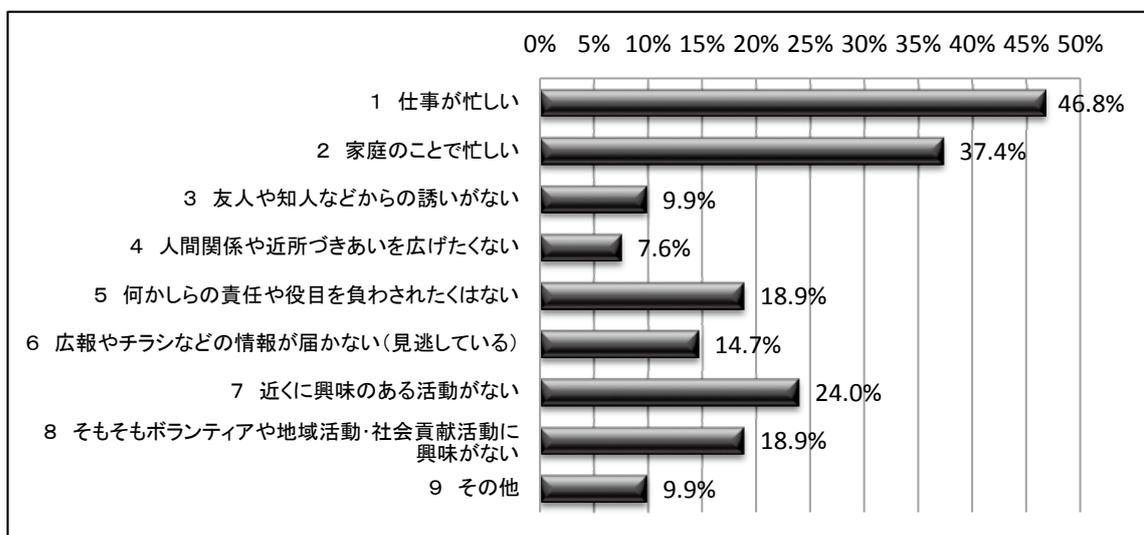
**※参考:平成22年度「社会参加活動に関する県民意識の調査」より**

Q あなたは、個人でボランティア活動をしている目的は何ですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



問21 ボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) <問16で「2していない」に○の方だけ>

回答数/688 複数回答有



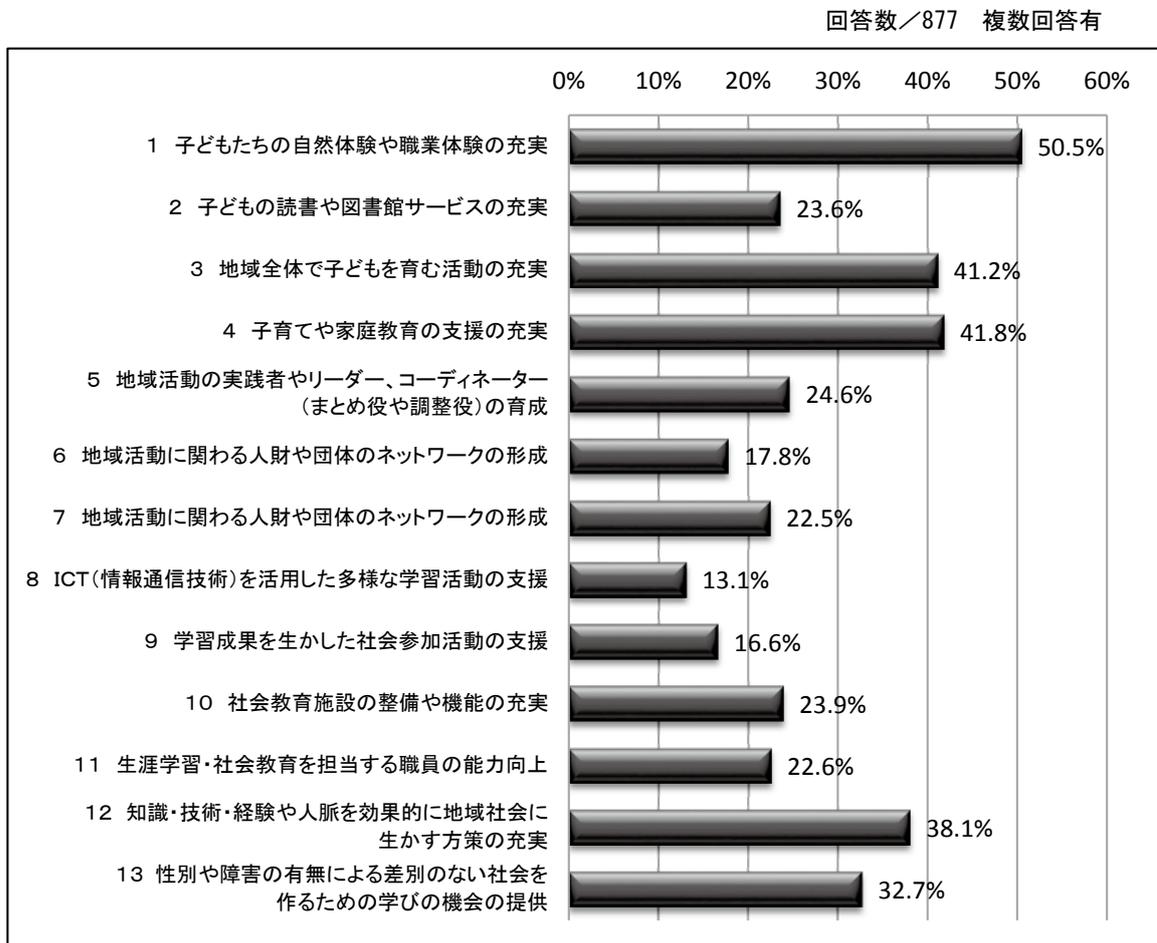
[その他の記述]

- ・学校やアルバイトで忙しい
- ・子どもがまだ入園前のため、時間が合わない(2名)
- ・月の半分はアルバイト、時には祖母の世話のため、介護者がいるため(3名)
- ・病人がいるため(2名)
- ・体調不安(2名)
- ・体調不良(5名)
- ・病気のため(2名)
- ・持病を抱えている(3名)
- ・障がい者なので難しい
- ・持病があるためムリがきかないが自分にできること探している
- ・高齢、体力の低下
- ・気力、体力がない
- ・以前沢山やって体調を崩したから
- ・どことなく恥ずかしい
- ・人づきあいが苦手なため、緊張する
- ・気持ちの余裕がない
- ・心に余裕がないし日々の自分のこと(仕事)でいっぱい
- ・経済的ゆとりがない
- ・自分が生きていくだけでいっぱい
- ・自分の都合で使える車がないことが大きな理由
- ・単身赴任の為、あまり情報がない
- ・機会がない
- ・ご近所が良く分からない
- ・町会が大きくて昔ながらの町会と土地が離れているため
- ・町内会がない
- ・引越してきて地域に慣れていないため
- ・町内会等で役が回ってきた時活動している
- ・今の仕事の前はしていた
- ・2011年9月組合活動に一度参加
- ・入口がわからない
- ・ボランティア活動を卒業したから
- ・参加しようと思っているが行動までいかない
- ・若い頃していて今は休んで自分の時間を持っている
- ・自分の時間を大事にしたい
- ・何かしなくてはと思いつつ休むことを優先してしまっている
- ・休日は休憩を優先してしまう
- ・今後これから考えている
- ・人付き合いが苦手だが、役に立てる事があればやりたい
- ・障がい者の方のボランティア活動をしてみたい
- ・業務の中で活動することがある、仕事がそもそも地域貢献的なもののため、それなりの立場(人脈)の人に声があるのではないか
- ・よく分からないから(2名)
- ・つまらない
- ・特になし(2名)

参加していない理由については、最も多いのが「仕事が忙しい」46.8%、ついで「家庭のことで忙しい」37.4%である。「人間関係や近所づきあいを広げたくない」は7.6%、「友人知人などからの誘いがない」は9.9%で少数となっている。

## 5 行政への要望

問22 あなたは、県の教育委員会が、県民のみなさまの学習活動や地域での活動、社会貢献活動を支援していく上で、今後どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



県教育委員会が今後力を入れるべきことについては、「子どもたちの自然体験や職業体験の充実」が50.5%で最も多く、ついで「子育てや家庭教育の支援の充実」41.8%、「地域全体で子どもを育む活動の充実」41.2%、「知識・技術・経験や人脈を効果的に地域社会に生かす方策の充実」38.1%、「性別や障害の有無による差別のない社会を作るための学びの機会の提供」32.7%となっている。

## 第3章 考 察

調査結果に基づき、研究顧問の松本大氏、柏谷至氏のお二人に考察を御執筆いただいた。  
ポイントは次のとおりである。

### 1 青森県民の生涯学習の特徴

- この1年間に生涯学習をした人の割合は、過去の調査（平成15年度「生産者世代の学習環境のあり方に関する調査研究」）と比較すると、高くなっている。また、全国調査と比較すると、本県は「仕事に関する学習活動」を行う者が多い。
- 学習活動の目的は「職業や仕事に役立てるため」が最も高く、「仕事指向」の生涯学習傾向が強いといえる。
- 約8割の方は何らかの知識や技術をもっと身に付けたいと回答しているが、学習を阻害している主たる要因として「時間」に関する項目への回答が多くなっている。

### 2 「仕事指向」ではあるが「個人志向」

- 男女ともに「仕事志向」であるが、男性は「趣味」、女性は「健康」の割合が高い。また、仕事に関する学習活動は年齢階層が若くなるほど実施割合が高くなる傾向がある。
- 全国的には、仕事のための学習活動より人との交流のために実施しているという割合が高いが、本県での結果は「仕事志向」で、社会的目的よりも自分自身のためという個人志向が強くと、他者や社会のために学ぶ割合は低いということには注意が必要である。

### 3 「時間がない・あわない」から、一歩踏み出すための支援が必要

- 学習活動ができない理由は、「時間がとれない・あわない」が多い。
- 時間的ゆとりがあれば生涯学習を行う割合は高いが、ゆとりがなくても学習は行われており、ゆとりがあっても必ずしも学習が行われるわけでもない。
- 時間的なゆとりがなかったとしても、生涯学習にあと一歩を踏み出すことができる支援をいかに行なえるのかが重要である。

### 4 社会教育行政に求められること

- 市民企画型・市民提案型で学びあう事業や、仕事に役立つ学習を入口として、社会参加や地域の人々とのネットワークにつなげていく。
- 参加者同士の関係性を事業や講座でつくりあげる方法を改めて見直す。

### 5 地域での活動やボランティア活動への関心と参加を規定する要因

- ボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動などへの関心については、平成22年度の「社会参加活動に関する県民意識の調査」と比較しても差は見られないことから、県民の意識や行動に大きな変化は起こっていないと考えられる。
- 地域での活動やボランティア活動への関心や参加率は、年齢が高い層の方が低い層よりも高く、職業では自営、給与所得者（公務員）及び年金受給者が高い。
- 学習活動と地域での活動やボランティア活動への関心や参加との間には強い関連性があり、「人生を豊かにするために、もっとこんなことを知りたい」と強く感じている人ほど、地域での活動やボランティア活動への関心も高くなっている。また、学習活動を行った人の方が関心も参加率も高い。
- ボランティア等に対して積極的な態度を取る人は、自らの「学び」にも積極的で、地域社会やボランティア等に関する情報源にも積極的にアクセスする。

## 6 地域での活動やボランティア活動への関心と参加との関係

○関心は持っているが実際の活動には参加しない人は、全体の約1/3程度存在する。参加を妨げる要因として、時間的制約と情報の不足が大きな影響を与えていると言える。

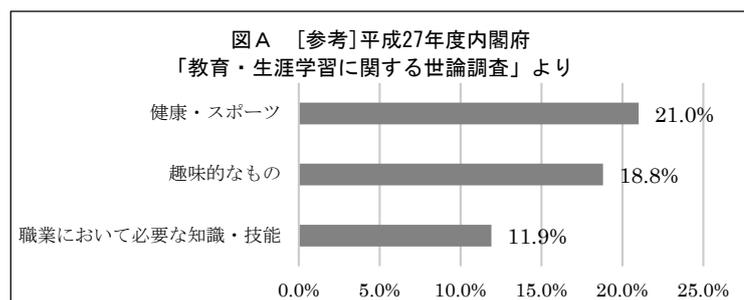
### ◆ ま と め

- (1) 県民の学習活動は「仕事指向」「個人志向」である。それ自体は問題ではないものの、「共同性」に結び付いていないのが現状である。調査結果から見えるのは個人で閉じて生涯学習を行う県民の姿であり、今後はどのように共同性をつくっていくのか、公共的に開いていくのが行政の課題である。
- (2) 「時間がない・あわない」ために生涯学習を行えないとする割合は高いものの、時間に追われゆとりがないというわけではないことから、たとえ時間的なゆとりがなくとも、生涯学習に「あと一步踏み出せる」ための支援をすることが重要である。
- (3) 「仕事に関する生涯学習」が学習をとおした社会参加のきっかけになる。これを入口として社会参加し、そこから地域の人々とネットワークを育てていく道筋を描くことができる。
- (4) 「仕事指向」「個人志向」から「つながり指向」「社会指向」へ向かうには、他者と一緒に学びあう関係性を持つことが、自分にとって徐々に不可欠なものになっていく。参加者同士の関係性を事業や講座でつくりあげる方法を、改めて見直す必要がある。
- (5) 自らの「学び」に積極的な人ほど地域での活動やボランティア活動への関心が高く、実際にボランティア等に参加する割合も高いことから、生涯学習は自らを高め社会とつながる手段としての意義を有していることが、改めて確認できたと言える。また、関心を参加へとつなげるために、時間的制約と情報不足の克服が必要である。
- (6) 地域での活動やボランティア活動への関心が低い層は社会的責任を持つことや人間関係を広げることに対して否定的で、社会的な孤立を深めていくことが予想される。無関心な層は若い年代ほど増えており、こうした層への学びの機会提供には、従来の生涯学習・社会学習の枠を越えた、新しい発想が求められている。

## 1 今回の調査からみえる青森県民の生涯学習の特徴

### (1) 県民の生涯学習を行う割合は全国と比較して高い

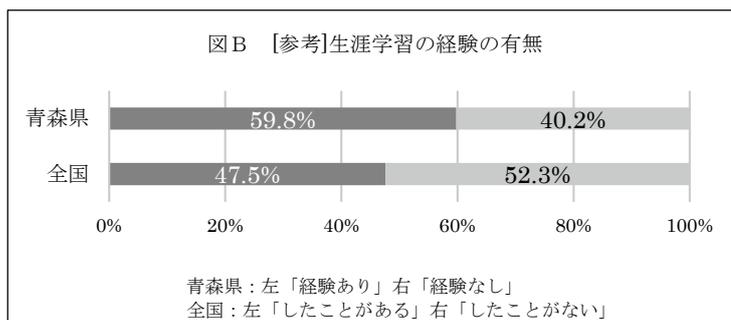
問5 (p.5) では1年間に実施した生涯学習を尋ねている。これによると、「仕事に関する学習活動」を実施した者が37.4%で最も多く、次いで「趣味に関する学習活動」32.5%、「生活に関する学習活動」17.9%、「社会貢献やボランティアに関する学習活動」17.1%となっている。今回の調査と設問や選択肢は異なるものの、内閣府の平成27年度「教育・生涯学習に関する世論調査」(図A)によると、全国的には「健康・スポーツ」に関する生涯学習の実施経験が最も多くなっている(21.0%)。続いて「趣味的なもの」(18.8%)、「職業において必要な知識・技能」(11.9%)となっている。つまり、今回の調査で「仕事に関する学習活動」の割合が37.4%で最も多かったということは、全国と比較した場合の本県の特徴といえる。



全国的には「健康・スポーツ」に関する生涯学習の実施経験が最も多くなっている(21.0%)。続いて「趣味的なもの」(18.8%)、「職業において必要な知識・技能」(11.9%)となっている。つまり、今回の調査で「仕事に関する学習活動」の割合が37.4%で最も多かったということは、全国と比較した場合の本県の特徴といえる。

また、「仕事に関する学習活動」「趣味に関する学習活動」「生活に関する学習活動」「社会貢献やボランティアに関する学習活動」のいずれか1つでも「実施した」と回答した者を「生涯学習の学習経験あり」、4つ全てに「実施しなかった」と回答した者を「生涯学習の学習経験なし」として計算したところ、「学習経験あり」は59.8% (n=468)、「学習経験なし」は40.2% (n=315) となった。

内閣府の平成27年度「教育・生涯学習に関する世論調査」では、「生涯学習をしたことがある」は47.5%、「生涯学習をしたことがない」は52.3%であったということと比べると、本県では、生涯学習を実施したことがある者の割合が高いということがわかる。(図B)



さらに、1年間の生涯学習の経験については、本県では平成15年度「生産

者世代の学習環境のあり方に関する調査研究」(以下、平成15年度調査と表記)においても同様の設問で尋ねている。それによると、平成15年度調査では「この1年間に『学習活動』をした」のは44.2%、「しなかった」は55.8%であった。平成15年度調査と今回の調査とを比較すると、今回は生涯学習を実施した割合が高くなっていることがわかる。

以上まとめれば、本県ではまず全国と比較して生涯学習を行う者の割合が高く、内訳としては特に「仕事に関する学習活動」を行う割合が高い。さらに平成15年度の同様の調査と比較すると、生涯学習を行う割合が高くなっている。これが、県民の生涯学習の現状である。

## (2) 「時間がない・あわない」なかでの「仕事志向」の生涯学習

次に、今回の調査の間6「もっとも力を入れて行った学習活動の目的」(p.6)をみると、「職業や仕事に役立てるため」が35.0%で最も多い。2番目に多いのが「健康や体力づくりのため」で18.0%、3番目に多いのが「趣味に役立てるため」の13.5%になっている。このように本県の場合、「地域や社会の役に立つため」(4.3%)でも「人とのつきあいを豊かにするため」(4.0%)でもなく、「仕事に役立てる」という目的で、「仕事に関連する生涯学習」を行う傾向が強いといえる。ここでは便宜上、このような傾向を「仕事志向」の生涯学習と呼ぶことにする。

平成15年度調査と比較すると、今回の調査では「仕事志向」が強くあらわれている。平成15年度調査では、今回の設問とやや異なるものの、「もっとも力を入れて行なった学習活動の目的」で最も多いのが「日常生活をよりよくするため」21.5%であった。2番目以降は、「知識・教養を身につけるため」19.8%、「資格取得のため」18.1%と続く。この結果が示唆するように、本県ではこの10年で、仕事を直接の目的とした生涯学習が増加しているといえる。他方、今回の調査の間8(p.7)では、「ふだんの生活のなかで学習活動ができないと感じる理由」を尋ねている。最も多いのが「仕事や学業で忙しくて時間がなかったとき」で56.4%である。これに、「講座や教室などが開かれる時間が自分の都合にあわなかったとき」40.8%、「学びや活動に必要な費用がなかったとき」34.9%、「家事や育児や介護で時間がとれなかったとき」32.2%と続く。なお、平成15年度調査でも同様の傾向があり、平成15年度調査では、「仕事が忙しくて時間がなかったとき」が66.7%で最も多く、続いて「開催時間が自分の都合にあわなかったとき」60.2%、「学習に必要な費用がなかったとき」44.9%であった。

これらが示すのは、県民の生涯学習を阻害している主たる要因となっているのは、「時間」や「費用」の側面であるということである。特に「時間がとれない」「時間があわない」といった「時間」に関する項目への回答が多いということに注目したい。「興味がない」から生涯学習をしていないということではないのである(今回問8で「学びや活動をすることに興味がない」と回答した者は5.5%)。

実際、今回調査の間9「自分の人生を豊かにするために、もっとこんな技術を身に付けたい、もっとこんなことを知りたいと感じることがありますか」(p.7)という設問に対して、「強く感じている」は27.8%、「やや感じている」は53.4%となっている。つまり県民の約8割が何らかの知識や技術をもっと身に付けたいと考えているということになる。平成15年度調査においても同様の設問を設けており、このときは「強く感じている」46.5%、「やや感じている」44.1%であった。平成15年度調査と今回調査をふまれば、県民の学習ニーズはかなり高いといえる。

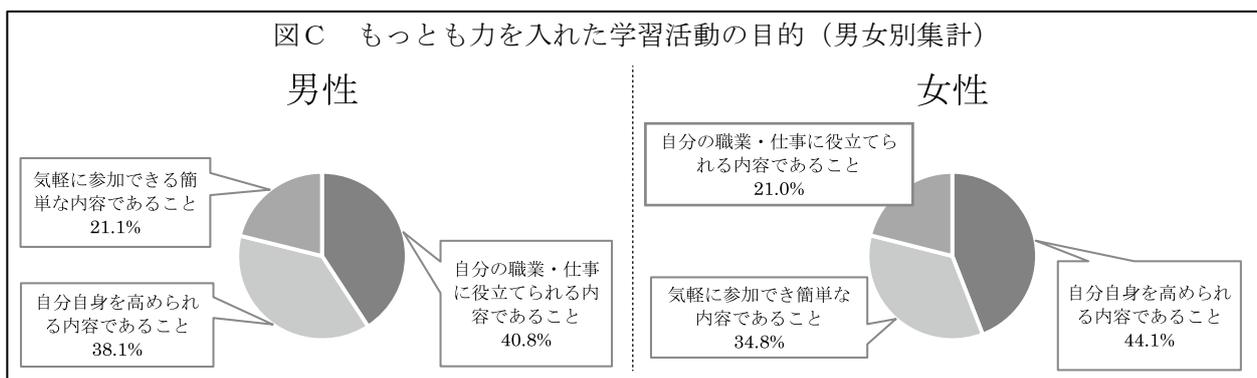
しかし現実には必ずしも学習が可能な状況にあるわけではなく、その阻害要因として強く作用しているのが、問8でみたように「時間」の問題（時間がない、時間があわない）であるということになる。

以上、今回の調査で県民の生涯学習の特徴としてまず浮かび上がるのは、「仕事志向」であるということと、「時間がない・あわない」ということである。そこで以下では、この「仕事志向」と「時間」の問題について簡単に考察を行う。

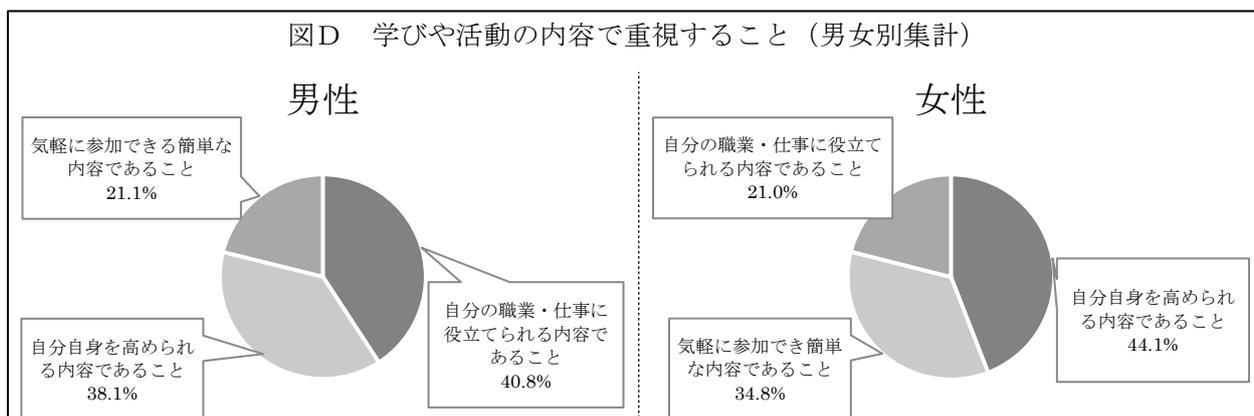
## 2 「仕事志向」の生涯学習の実態

### (1) 男性は「仕事」「趣味」、女性は「仕事」「健康」。そして年齢が若いほど「仕事」

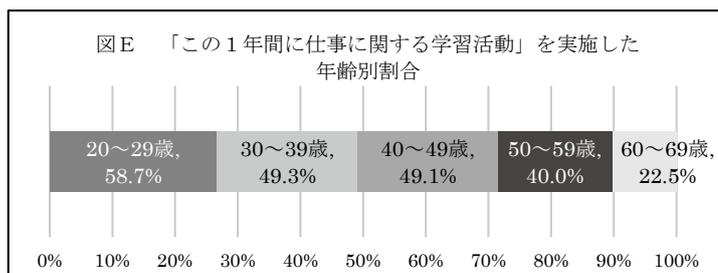
まずは、「仕事志向」の生涯学習の実態を性別にみる。今回調査の間6「もっとも力を入れた学習活動の目的」(p.6)を性別に集計(図C)したところ、男女ともに最も多かったのが「職業や仕事に役立てるため」で、男性は37.5%、女性は34.6%であった。なお男性の場合、2番目に多いのは「趣味に役立てるため」16.5%、3番目が「健康や体力づくりのため」13.7%であった。女性の場合は、2番目に多いのが「健康や体力づくりのため」21.1%、3番目に多いのが「仕事以外の幅広い知識や教養を身に付けるため」13.1%であった。男女ともに「仕事志向」であるが、男性は「趣味目的」の割合が高く、女性は「健康目的」の割合が高いということになる。



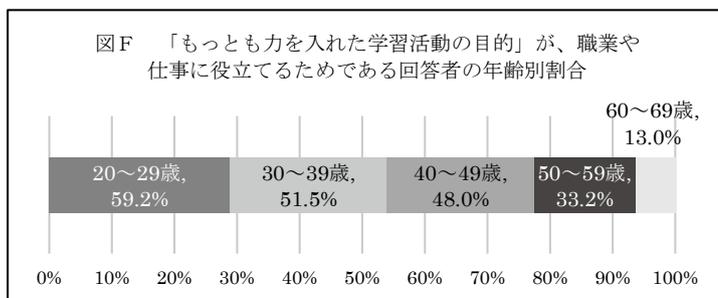
さらに、今回調査の間11②「学びや活動の内容で重視すること」(p.9)を性別(図D)に集計したところ、男性では「自分の職業・仕事に役立てられる内容であること」26.5%、「自分自身を高められる内容であること」24.7%、「気軽に参加でき簡単な内容であること」13.7%の順で多くなっている。女性の場合は、「自分自身を高められる内容であること」27.5%、「気軽に参加でき簡単な内容であること」21.7%、「自分の職業・仕事に役立てられる内容であること」18.7%の順で多い。男女ともに「仕事」に関連した内容を重視しているが、男性に比べて女性の方が気軽さやわかりやすさを求めているといえよう。



次に、「仕事志向」の生涯学習の実態を年齢階層別にみている。今回調査問5「この1年間に仕事に関する学習活動」(p.5)を実施したと回答した者は、20代58.7%、30代49.3%、40代49.1%、50代40.0%、60代22.5%であった。仕事に関する生涯学習は、50代・60代と比べて20～40代で実施する割合が高く、さらに年齢階層が若いほど実施割合も高い(図E)。



同様の傾向は、今回調査問6「もっとも力を入れた学習活動の目的」(p.6)にもみられ、「職業や仕事に役立てるため」と回答した者は20代59.2%、30代51.5%、40代48.0%、50代33.2%、60代13.0%となっている(図F)。

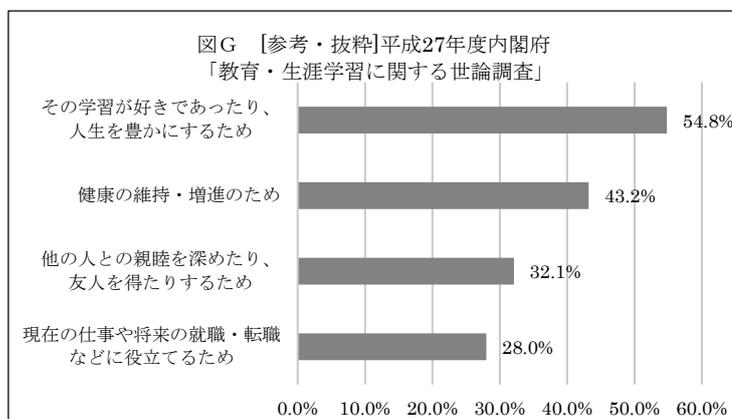


「仕事志向」の生涯学習の傾向は20～40代の者により強くあらわれているといえよう。

## (2) 「個人志向」の生涯学習としての「仕事志向」

一方で、こうした本県の「仕事志向」の生涯学習が、社会的な目的というよりも個人志向の傾向があるということには注意が必要である。先ほども指摘したように、今回調査問6「もっとも力を入れて行った学習活動の目的」(p.6)をみると、「職業や仕事に役立てるため」35.0%、「健康や体力づくりのため」18.0%、「趣味に役立てるため」13.5%など、自分自身のために生涯学習を行う傾向が強い。「家庭や家族のため」8.9%、「地域や社会の役に立つため」4.3%、「人とのつきあいを豊かにするため」4.0%となっており、他者や社会のために生涯学習を行う割合は低い。

項目は異なるものの、全国との比較でいえば、平成27年度「教育・生涯学習に関する世論調査」によると、生涯学習の目的で最も多いのは「その学習が好きであったり、人生を豊かにしたりするため」54.8%、「健康の維持・増進のため」43.2%、「他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため」32.1%、「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため」28.0%となっている(図G)。全国的には、生涯学習を仕事のために行うという割合よりも、人との交流のために生涯学習を行う割合が高いということになる。



このように、ここで示唆されるのは、本県における生涯学習の「仕事志向」は、「個人志向」の傾向を合わせ持っているということである。もちろん、「仕事志向」や「個人志向」であるということそれ自体が問題であるわけではないが、社会教育行政・生涯学習行政にとって考えなければならないのは、県民の生涯学習が「共同性」に十分に結びついていないということである。あくまで個人的に、個人の目的のために生涯学習を行う。今回の調査結果が描くのは、そうした個人で閉じて生涯学習を行う県民の姿である。こうした個人の学習について、どのように共同性をつくっていくのか、公共的に拓いていくのかということを経後の課題として指摘できる。

### 3 「時間がない・あわない」ということ

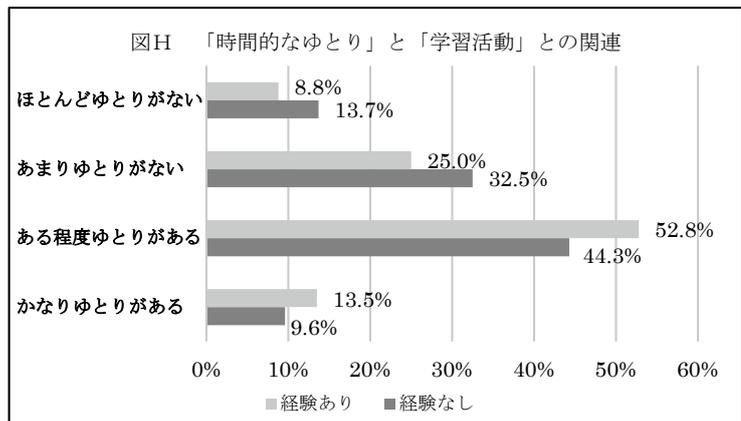
#### (1) 「時間的なゆとり」はあるが、「時間がない・あわない」

先ほども指摘したように、今回調査問8「ふだんの生活のなかで学習活動ができない理由」(p.7)をみると、時間がとれない・あわないという回答が多くなっている。また、今回調査の問11①「家の外での学習活動に参加する場合に重視すること」(p.9)では「時間や時間帯が自分の都合に合っていること」が58.0%で最も多い。

しかし一方で、今回調査の問3「あなたは、好きなことをしたり、休んだりする時間的なゆとりがありますか」(p.4)をみると、「かなりゆとりがある」12.4%、「ある程度ゆとりがある」48.7%、「あまりゆとりがない」27.9%、「ほとんどゆとりがない」10.8%となっている。「かなりゆとりがある」「ある程度ゆとりがある」を合わせると、約6割が「時間的なゆとりがある」と回答している。なお平成15年度調査では、「かなりゆとりがある」「ある程度ゆとりがある」を合わせると約5割であった。この結果と先ほどの今回調査問8「ふだんの生活のなかで学習活動ができない理由」(p.7)の結果を合わせると、「時間的なゆとりはある」が、「時間がない・あわない」から生涯学習に参加できないということがいえる。

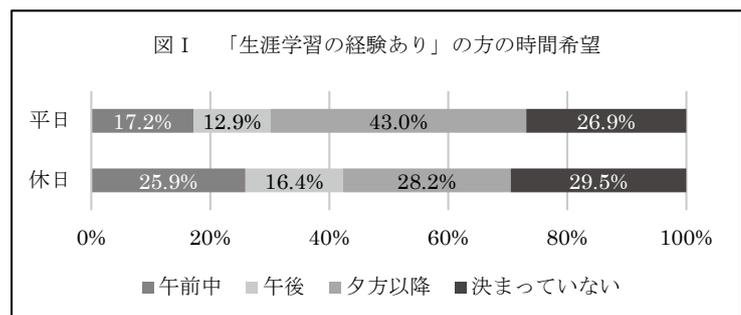
#### (2) 「時間がない・あわない」という意識をもつ人たちが「あと一步踏み出す」ために

「時間的なゆとり」と、「仕事に関する学習活動」「趣味に関する学習活動」「生活に関する学習活動」「社会貢献やボランティアに関する学習活動」のいずれか1つでも「生涯学習の学習経験あり」、4つ全てで「生涯学習の学習経験なし」とをクロス集計してみたところ、次のような結果となった。「生涯学習の学習経験あり」では、時間的なゆとりが「かなりある」13.5%、「ある程度ゆとりがある」52.8%、「あまりゆとりがない」25.0%、「ほとんどゆとりがない」8.8%となった。「生涯学習の学習経験なし」では、時間的なゆとりが「かなりある」9.6%、「ある程度ゆとりがある」44.3%、「あまりゆとりがない」32.5%、「ほとんどゆとりがない」13.7%であった(図H)。この結果が示すのは、確かに時間的なゆとりがある方が生涯学習を行う割合は高いが、時間的なゆとりがなくても生涯学習は行われているし、時間的なゆとりがあるからといって必ずしも生涯学習が行われるわけでもないということである。



このように、確かに問8(p.7)でみたように、「時間がない・あわない」ために生涯学習を行えないとする割合は高いものの、だからといって県民が時間に追われ時間的なゆとりがないというわけではない。たとえ時間的なゆとりがなくても、生涯学習は行われている。このような「時間がない・あわない」人々が、たとえ時間的なゆとりがなかったとしても、生涯学習に「あと一步踏み出すことができる」支援をいかに行えるのかが重要なのだろうといえる。

時間に関する支援については、今回調査問7で「家の外で学習活動をするとしたら、どの時間帯が都合がよいか」(p.6)尋ねている。この問7と「生涯学習の学習経験あり・なし」をクロス集計したところ、「生涯学習の学習経験あり」では、平日では「午前中」



17.2%、「午後」12.9%、「夕方以降」43.0%、「時間は決まっていない」26.9%であった。休日では「午前中」33.4%、「午後」24.9%、「夕方以降」7.9%、「時間は決まっていない」33.8%である。一方、「生涯学習の学習経験なし」では、平日は「午前中」25.9%、「午後」16.4%、「夕方以降」28.2%、「時間は決まっていない」29.5%であった。休日は「午前中」35.8%、「午後」26.1%、「夕方以降」2.7%、「時間は決まっていない」35.5%である。特に、必ずしも時間的なゆとりがなくても生涯学習に参加した「学習経験あり」の回答は参考になるだろう（図I）。これをみると、平日は夕方以降であれば、休日は午前中もしくはどの時間帯であったとしても、学習活動に参加しやすいということになる。

#### 4 生涯学習の支援について社会教育行政に求められること

ここまでの内容を改めて整理する。本県における生涯学習は、学習内容としては「仕事に関する学習活動」を行う割合が高い。これらの生涯学習の目的として多いのは、「仕事に役立てる」ためというものである。こうした「仕事志向」の学習は、他者や社会のためというよりも自分自身のためのものであり、「個人志向」の生涯学習である。一方、生涯学習の主たる阻害要因となっているのは、「時間がない・あわない」ということであった。しかし、かといって必ずしも県民に「時間的なゆとり」がないというわけでもない。時間的なゆとりがあってもなくても生涯学習が行われているということからみると、生涯学習に「あと一歩踏み出すことができる」きっかけをどのようにつくるのかということが鍵となる。

以上を踏まえて政策的な示唆として2点を指摘したい。第一に、今回の調査が示唆するのは、「仕事に関する生涯学習」が学習をとおした社会参加のきっかけになりうるということである。しかし、社会教育行政・生涯学習行政にとって、仕事や職業に関する事業は得意としてきたものではない。

では、仕事に関する県民の高い学習ニーズにどのように応えることができるのか。1つには、近年注目されているシブヤ大学（東京都）や、あるいは県内でいえば三沢市立中央公民館の手弁当学び講座のような、市民企画型・市民提案型で学びあう事業は有効であろう。市民が持っている知識や得意技を教えあい学びあい、行政は側面的に支援するというものである。気軽に楽しそうな雰囲気なかで、何か少しでも役に立ちそうと思える事業をつくるということが重要である。例えばホームページでシブヤ大学の平成27年度授業一覧をみると、「今日で見つかる！～自分がホントにやりたいこと～」「自ら選択・決断すること～自分の性分にあった生き方を考える～」「子連れ出勤してみました。～子どもが会社を育てる～」「企業の中で応援やサポートを得る～社会貢献活動の新しい進め方～」といった講座がある。こうした学習者の日常に寄り添ったテーマを受講者側が発案し受講者同士で学びあうというスタイルが、広く受け入れられてきている。もう1つには、子どもを対象としたキャリア教育・職業教育に大人を巻き込む場合においても、大人にとってまずは自分の仕事に役立つと思えるような仕掛けが有効といえそうである。

いずれにせよ昨今の状況を見ると、社会教育行政としては地域づくりや子ども・学校支援に関する事業に重点がおかれるわけであるが、地域の大人、特に20代から40代を社会教育に巻き込むためには、仕事に関する学習が入口でよいということになる。仕事に役立つ学習を入口として社会参加し、そこから地域の人々とネットワークを育んでいくという道筋を描くことができる。

第二に、学習の質の問題である。今回の調査結果が示すのは、個人の目的のために、個人で閉じて学習を行うという県民の実態であった。全国と比較すると、確かに生涯学習を行う者それ自体の割合は高いが、他方で本県の場合には、他者や社会のために学習を行う割合が低い。では、「つながり志向」や「社会志向」はどのように形成されるのか。たとえ最初は個人志向の目的だったとしても、他者と一緒に学びあうなかで、関係性や空間が居心地の良いものとなり、自分の学習にとって関係性や空間が必要不可欠なものになっていくのである。こうした他者との関係づくりに重点をおいた学習方法を強調してきたのが社会教育行政の事業や公民館である。この点で、今回の調査結果は、社会教育行政や公民館関係者に、社会教育における学習の意味を再確認する必要性を提起している。今回の調査結果では、「つながり志向」「社会志向」を示す数値が低かったわけであるから、社会教育関係者にとっては、参加者同士の関係性を事業や講座でつくりあげる方法を改めて見直し

てみる必要があるであろう。

(以上 弘前大学教育学部社会教育研究室講師 松本大)

## 5 ボランティア等への参加をめぐる

地域住民同士の助け合いや、地域課題解決をめざす活動を促進し支援することは、生涯学習・社会教育の目的のひとつである。また、これらの活動のプロセス自体が参加者にとっては学びの機会にもなる。生涯学習の成果を社会参加にどうつなげていくかは、生涯学習・社会教育のあり方を考える際の大きな課題となる。

本調査においても、問15～21で「仕事以外のボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動など」(以下、「ボランティア等」と略称する)への関心、参加の有無、その要因などについて質問している。ここでは、青森県民のボランティア等への関心や参加を促進したり阻害したりする要因について、回答結果を分析して得られた知見を紹介する。

## 6 ボランティア等への関心と参加

「あなたは、仕事以外のボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動などに関心がありますか」という問15の質問 (p.18) に対し、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」と答えた人は54.5%にのぼる。平成22年度の「社会参加活動に関する県民意識の調査」(以下、「平成22年度調査」と表記)における同様の質問と比較しても、回答の分布には差が見られない。

また、「あなたは、仕事以外でボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動などをしていますか」問16の質問 (p.18) に対しては、21.2%が「している」と回答している。平成22年度調査における類似の質問への回答 (14.9%) よりも若干多いが、質問文や調査対象者の違いが影響していることが考えられる。ボランティア等への関心や参加に関して、県民の意識や行動に大きな変化は起こっていないと考えられそうである。

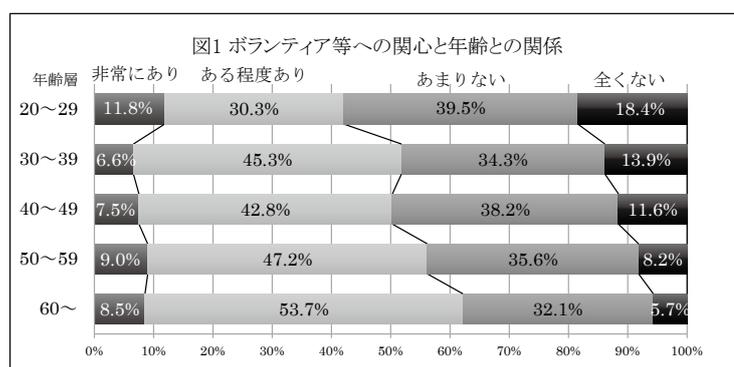
## 7 ボランティア等への関心・参加を規定する要因

ボランティア等への関心の高い人、実際に参加している人はどんな人なのか。回答者の属性に関する質問項目のうち、ボランティア等への関心の高さや参加の有無をクロス集計したところ、関連性が大きかったのは年齢及び職業である。年齢が低い層より高い層の方が、ボランティア等への関心も参加率も高い傾向があった(図1、図2)。

また、自営、給与所得者(公務員)及び年金受給者において、ボランティア等への参加率が高かった(図3)。その他の基本属性(性別、居住地、学歴)によるボランティア等への関心度や参加率には、はっきりとした違いが見られなかった。

その一方で、本調査の前半で質問している「学習活動」とボランティア等への関心や参加との間には、強い関連性があった。例えば、問9「人生を豊かにするために、もっとこんな技術を身につけたい、もっとこんなことを知りたい」(p.7)と強く感じている人ほど、ボランティア等への関心も参加率も高くなっている(図4、図5)。

問5の学習活動実践の有無(p.5)で見ても、学習活動を行った人の方が行わなかった人よりもボランティア等への関心が強く、ボランティアに参加している人の割合も高い。図6・図7では、



問5-4「社会貢献やボランティアに関する学習活動」(p.5)との関連性を示したが、同様の傾向は他分野の学習活動においても見られている。

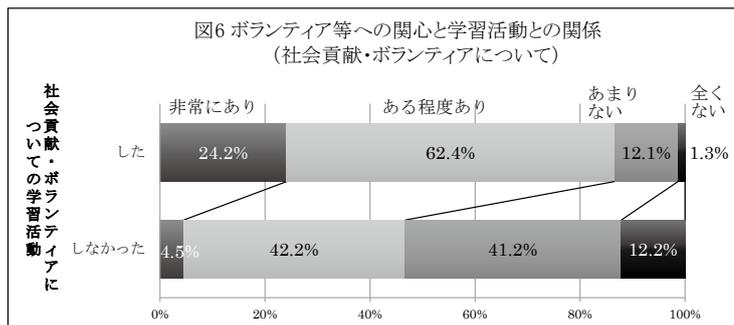
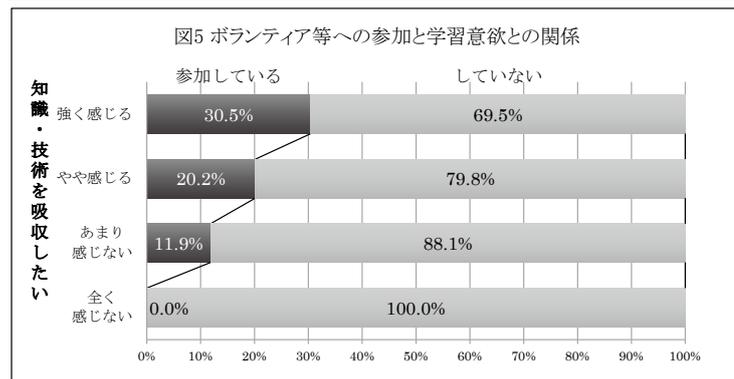
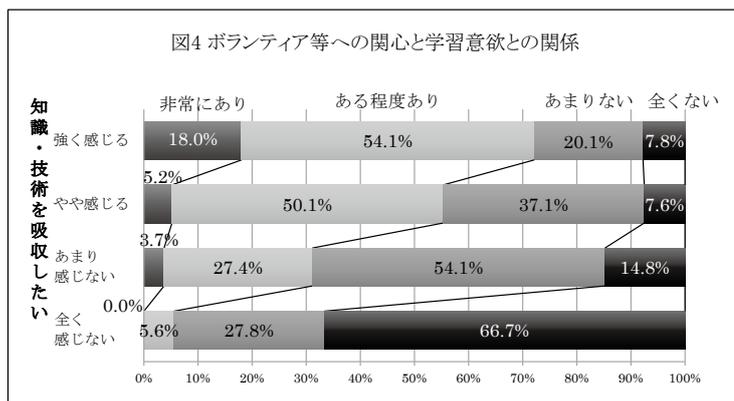
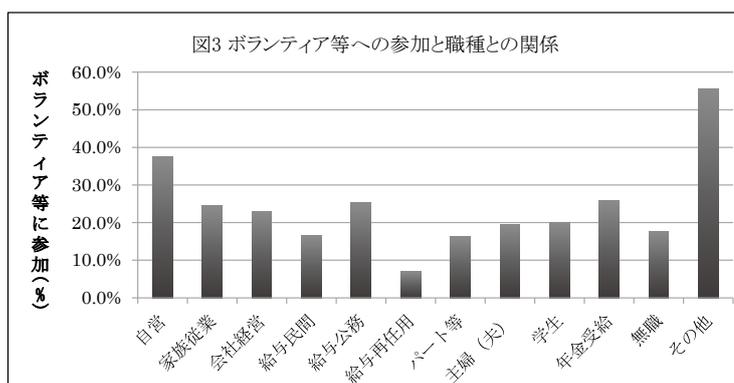
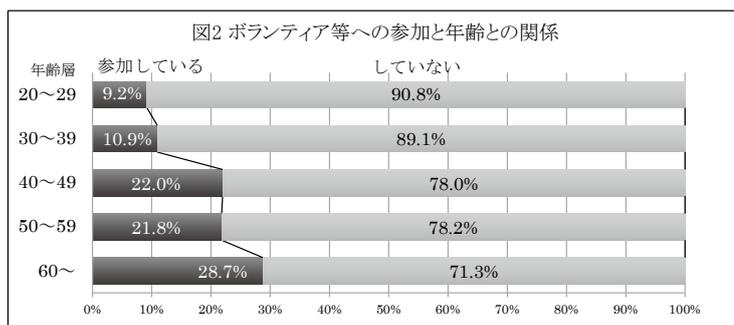
もうひとつ、興味深い事実を指摘しておきたい。学習活動やボランティア等に関する情報源と、ボランティア等への関心・参加との関連性である。問13-4「地域の行事・イベントに関する情報」(p.12)や、問13-5「社会貢献活動やボランティア活動に関する情報」(p.12)を入手する際に、「行政機関の広報誌」「回覧板や掲示物」「口コミ」といった情報源を利用している人の方が、利用していない人に比較して、ボランティア等に関する関心や参加度が高い(図8~11)。

一般に、メディアと人々の意識との関係は双方向的である。メディアが私たちの関心や態度に影響を及ぼしている一方で、私たちも自分の関心や態度に応じて、どのメディアに接触するか選んでいる。

図8~11に示した結果を解釈する際にも、情報源とボランティア等への関心・参加との間にどういう因果関係があるのかを判別するのは難しい。しかし、前述した学習活動との関連の強さもあわせて考えると、ボランティア等に対して積極的な態度を取る人は、自らの「学び」にも積極的で、地域社会やボランティア等に関する情報源にも積極的にアクセスする人であることが伺える。

## 8 関心と参加との関係

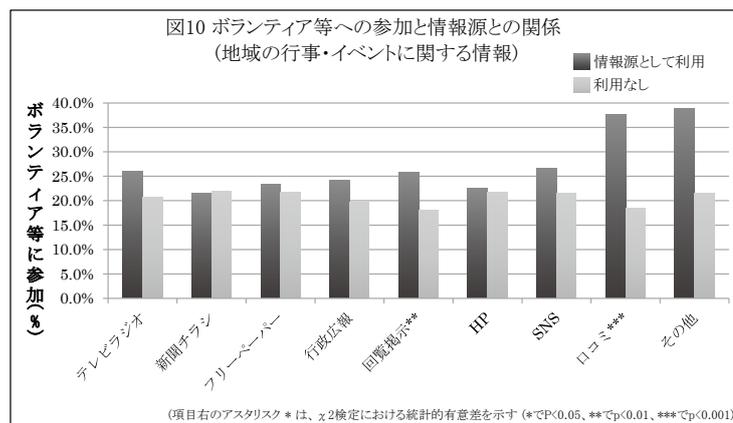
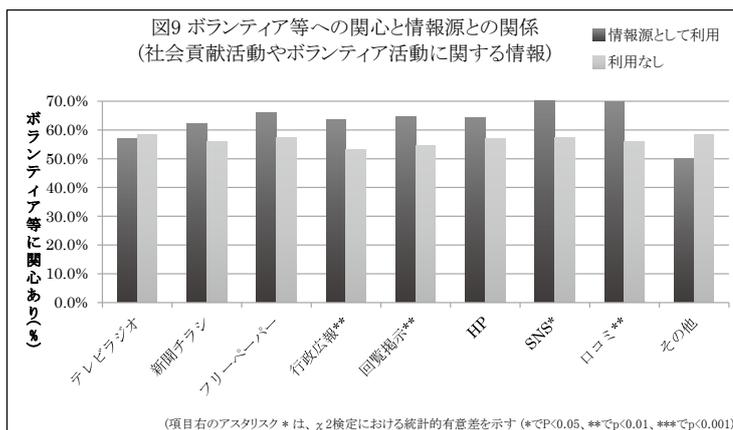
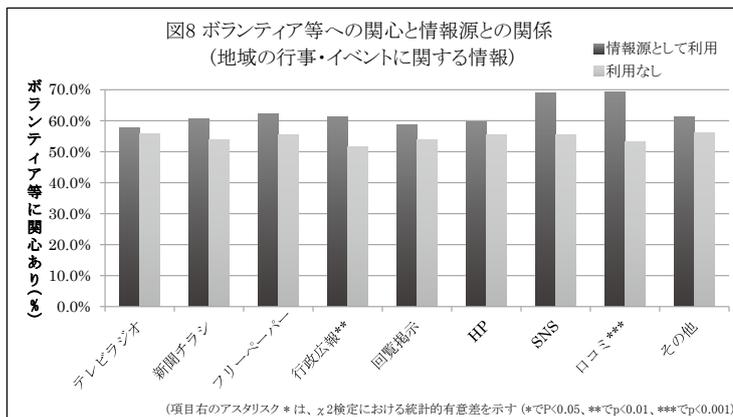
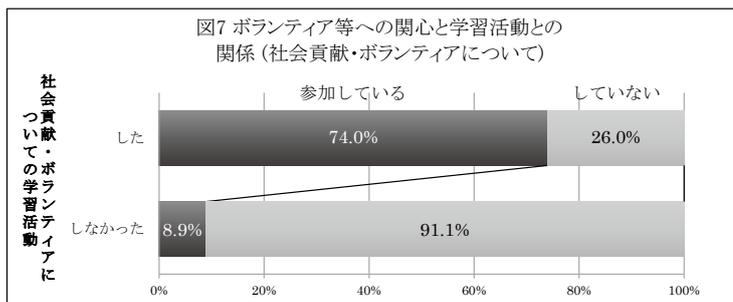
ここまで、ボランティア等への関心の強さとボランティア等への実際の参加とを、あまり区別することなく分析してきた。それは両者に強い関連性があるからである。ボランティアがもともと市民の善意や使命感に基づく自発的活動であることを考えれば、当然の結果と言える。



しかし、ボランティア等への関心の強さとボランティア等への実際の参加との間には、ある種の「ズレ」があることも事実である。「ボランティア等に関心は持っているが実際の活動には参加しない人」が、全体の約1/3程度（有効回答871人中314人）存在する。

それでは、何が参加を妨げる要因となっているのだろうか。本調査では、問21でボランティア等に参加していない人に対し、その理由を複数回答で尋ねている（p.23）。有効回答全体の傾向としては、「仕事が忙しい」、「家族のことで忙しい」、「近くに興味のある活動がない」ことを上げる人が多い。この回答をボランティア等への関心の有無によって比較したのが、図12である。ここからは、ボランティアに関心を持っている人は「仕事で忙しい」、「興味のある活動がない」、「情報が届かない（見逃している）」を選び、関心のない人は「そもそも関心がない」「責任や役目を負わされたくない」「人間関係や近所づきあいを広げたくない」を選択する傾向があることがわかる。

これらの結果からは、ボランティア等に関心はあるが参加していない層は、時間的な余裕のなさや情報の不足を、参加しない理由として意識していることが読み取れる。回答者の基本属性との関係について分析した際に述べたとおり、時間に余裕があったり情報が入手しやすかったりすると考えられる職種（自営業者・公務員・年金受給者）では、ボランティア等への参加率が相対的に高かった。ボランティア等へ関心を持っている人々の参加を妨げる要因として、時間的制約と情報の不足が、大きな影響を与えていると言えるのではないだろうか。



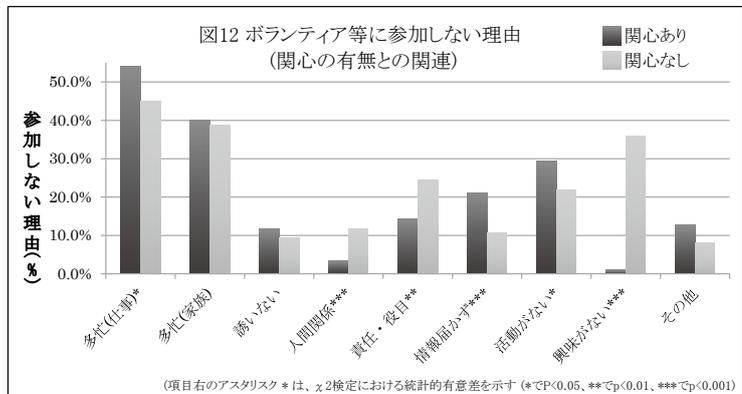
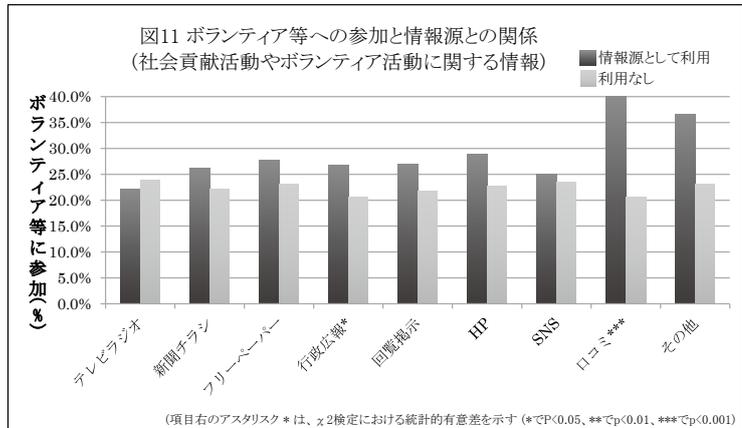
## 9 生涯学習・社会学習と社会参加～まとめと展望～

以上の調査結果から、青森県民の生涯学習・社会教育と社会参加活動について得られた知見をまとめおきたい。

本調査では自らの「学び」に積極的な人ほどボランティア等への関心が高く、実際にボランティア等に参加する割合も高いことが分かった。生涯学習は自らを高め、社会とつながる手段としての意義を有していることが、あらためて確認できたと言える。また、ボランティア等の関心を参加へとつなげるために、時間的制約と情報不足の克服が必要であることも分かった。このことは、関心の高い層の参加を可能にするような活動形態の工夫と、こうした層に対する適切な情報提供とが、社会参加活動を促進する際の課題であることを示唆している。

その一方で、ボランティア等への関心が低い層に対してどのような学びの機会を提供し、社会へとつなげていくかが、もうひとつの課題となる。図12に示したように、これらの層は社会的責任を持つことや人間関係を広げることに對して否定的で、社会的な孤立を深めていくことが予想される。図1で示したように、ボランティア等に無関心な層は若い年代ほど増えており、こうした層への学びの機会提供には、従来の生涯学習・社会学習の枠を越えた、新しい発想が求められていると言えるかもしれない。

(以上 青森大学社会学部社会学科教授 (地域貢献センター長) 柏谷至)



## 第4章 資 料

### 1 調査結果単純集計表

◎結果数値（パーセント＝％）は、少数第2位を四捨五入して少数第1位まで表示しています。

#### 問1（1） あなたの性別と年齢及びお住まいの地域を教えてください。－性別－

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	男性	332	37.9%	38.5%	38.5%
	2	女性	531	60.5%	61.5%	100.0%
	合計		863	98.4%	100.0%	
欠損値	0	無回答	14	1.6%		
合計			877	100.0%		

#### 問1（2） あなたの性別と年齢及びお住まいの地域を教えてください。－年齢層－

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	～29歳	76	8.7%	8.7%	8.7%
	2	30歳～39歳	137	15.6%	15.7%	24.4%
	3	40歳～49歳	173	19.7%	19.9%	44.3%
	4	50歳～59歳	235	26.8%	27.0%	71.3%
	5	60歳～	249	28.4%	28.6%	99.9%
	合計		870	99.2%	99.9%	
欠損値	0	無回答	7	0.8%		
合計			877	100.0%		

#### 問1（3）－1 あなたの性別と年齢及びお住まいの地域を教えてください。－地区名－

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	東青	233	26.6%	27.4%	27.4%
	2	西北	73	8.3%	8.6%	36.0%
	3	中南	176	20.1%	20.7%	56.7%
	4	上北	94	10.7%	11.0%	67.7%
	5	下北	53	6.0%	6.2%	73.9%
	6	三八	222	25.3%	26.1%	100.0%
	合計		851	97.0%	100.0%	
欠損値	0	無回答	26	3.0%		
合計			877	100.0%		

#### 問1（3）－2 あなたの性別と年齢及びお住まいの地域を教えてください。－区分－

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	A	市	721	82.2%	86.9%	86.9%
	B	町または村	109	12.4%	13.1%	100.0%
	合計		830	94.6%	100.0%	
欠損値	0	無回答	47	5.4%		
合計			877	100.0%		

#### 問2（1） あなたの仕事の内容とその分野、および最後に卒業した学校について教えてください。－職種－

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	ア	自営業	64	7.3%	7.3%	7.3%
	イ	家族従業（農家や商店など家族の自営業に従事している）	45	5.1%	5.1%	12.4%
	ウ	会社経営（家族以外の人を雇っている）	13	1.5%	1.5%	13.9%
	エ	給与所得者（民間企業〈契約・派遣社員等を含む〉）	266	30.3%	30.4%	44.3%
	オ	給与所得者（公務〈臨時を含む〉）	119	13.6%	13.6%	57.9%
	カ	給与所得者（再任用・再雇用等）	15	1.7%	1.7%	59.6%
	キ	パート・アルバイト	123	14.0%	14.1%	73.7%
	ク	専業主婦（夫）	87	9.9%	9.9%	83.6%
	ケ	学生	10	1.1%	1.1%	84.7%
	コ	年金受給	90	10.3%	10.3%	95.0%
	サ	無職（年金受給者以外）	34	3.9%	3.9%	98.9%
	シ	上記以外	9	1.0%	1.0%	99.9%
		合計		875	99.7%	99.9%
欠損値	0	無回答	2	0.2%		
合計			877	99.9%		

問2 (2) あなたの仕事の内容とその分野、および最後に卒業した学校について教えてください。一業種一

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	A	農林漁業	50	7.5%	7.7%	7.7%
	B	鉱業、採石業	1	0.2%	0.2%	7.9%
	C	建設業	51	7.7%	7.8%	15.7%
	D	製造業	45	6.8%	6.9%	22.6%
	E	電気、ガス、水道業	11	1.7%	1.7%	24.3%
	F	情報通信業	11	1.7%	1.7%	26.0%
	G	運輸、郵便業	22	3.3%	3.4%	29.4%
	H	卸、小売業	63	9.5%	9.7%	39.1%
	I	金融、保険業	18	2.7%	2.8%	41.9%
	J	不動産、物品賃貸業	6	0.9%	0.9%	42.8%
	K	学術研究、専門・技術サービス業	24	3.6%	3.7%	46.5%
	L	宿泊、飲食サービス業	27	4.1%	4.2%	50.7%
	M	生活関連サービス業、娯楽業	11	1.7%	1.7%	52.4%
	N	教育、学習支援業	48	7.2%	7.4%	59.8%
	O	医療、福祉	121	18.3%	18.6%	78.4%
	P	複合サービス事業	8	1.2%	1.2%	79.6%
	Q	その他のサービス業	56	8.4%	8.6%	88.2%
	R	公務	59	8.9%	9.1%	97.3%
	S	分類不能の産業	18	2.7%	2.8%	100.1%
	合計		650	98.1%	100.1%	
欠損値	0	無回答	13	2.0%		
合計			663	100.1%		

問2 (3) あなたの仕事の内容とその分野、および最後に卒業した学校について教えてください。一最後に卒業した学校一

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	小・中学校	73	8.3%	8.4%	8.4%
	2	高等学校	415	47.3%	47.9%	56.3%
	3	高等専門学校、専修・専門学校	139	15.8%	16.0%	72.3%
	4	大学院、大学、短期大学、大学校	240	27.4%	27.7%	100.0%
	5	上記以外	0	0.0%	0.0%	100.0%
	合計		867	98.8%	100.0%	
欠損値	0	無回答	10	1.1%		
合計			877	99.9%		

問3 あなたは、好きなことをしたり、休んだりする時間的なゆとりがありますか。(いずれか1つに○)

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	かなりゆとりがある	109	12.4%	12.4%	12.4%
	2	ある程度ゆとりがある	427	48.7%	48.7%	61.1%
	3	あまりゆとりがない	245	27.9%	28.0%	89.1%
	4	ほとんどゆとりがない	95	10.8%	10.8%	99.9%
	合計		876	99.8%	99.9%	
欠損値	0	無回答	1	0.1%		
合計			877	99.9%		

問4 あなたは、仕事や家事、学業などのほかに、好きなことをするための経済的なゆとりがありますか。(いずれか1つに○)

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	かなりゆとりがある	21	2.4%	2.4%	2.4%
	2	ある程度ゆとりがある	307	35.0%	35.0%	37.4%
	3	あまりゆとりがない	325	37.1%	37.1%	74.5%
	4	ほとんどゆとりがない	223	25.4%	25.5%	100.0%
	合計		876	99.9%	100.0%	
欠損値	0	無回答	1	0.1%		
合計			877	100.0%		

問5 (1) あなたは、この1年間に学習活動をしましたか。次の1から5のそれぞれの分野ごとにお答えください。(どちらかに○)

1 仕事に関する学習活動<仕事をする上で役に立つことや転職のためなど>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	した	328	37.4%	40.4%	40.4%
	2	しなかった	484	55.2%	59.6%	100.0%
	合計		812	92.6%	100.0%	
欠損値	0	無回答	65	7.4%		
合計			877	100.0%		

問5(2) あなたは、この1年間に学習活動をしましたか。次の1から5のそれぞれの分野ごとにお答えください。(どちらかに○)

2 趣味に関する学習活動<習い事や練習など>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	した	285	32.5%	34.9%	34.9%
	2	しなかった	531	60.5%	65.1%	100.0%
	合計		816	93.0%	100.0%	
欠損値	0	無回答	61	7.0%		
合計			877	100.0%		

問5(3) あなたは、この1年間に学習活動をしましたか。次の1から5のそれぞれの分野ごとにお答えください。(どちらかに○)

3 生活に関する学習活動<料理教室や健康、子育てに関することなど>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	した	157	17.9%	19.6%	19.6%
	2	しなかった	643	73.3%	80.4%	100.0%
	合計		800	91.2%	100.0%	
欠損値	0	無回答	77	8.8%		
合計			877	100.0%		

問5(4) あなたは、この1年間に学習活動をしましたか。次の1から5のそれぞれの分野ごとにお答えください。(どちらかに○)

4 社会貢献やボランティアに関する学習活動<地域の行事や子ども、障害者との交流など>

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	した	150	17.1%	18.7%	18.7%
	2	しなかった	654	74.6%	81.3%	100.0%
	合計		804	91.7%	100.0%	
欠損値	0	無回答	73	8.3%		
合計			877	100.0%		

問5(5) あなたは、この1年間に学習活動をしましたか。次の1から5のそれぞれの分野ごとにお答えください。(どちらかに○)

5 その他

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	した	12	1.4%	2.6%	2.6%
	2	しなかった	457	52.1%	97.4%	100.0%
	合計		469	53.5%	100.0%	
欠損値	0	無回答	408	46.5%		
合計			877	100.0%		

問6 あなたがもっとも力を入れて行った学習活動の目的は何ですか。なお、この1年間に学習活動をしなかった方は、することを想像して答えてください。(いずれか1つに○)

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	職業や仕事に役立てるため	307	35.0%	35.4%	35.4%
	2	より高い学歴や学位を得るため	10	1.1%	1.2%	36.6%
	3	仕事以外の幅広い知識や教養を身につけるため	114	13.0%	13.1%	49.7%
	4	趣味に役立てるため	118	13.5%	13.6%	63.3%
	5	健康や体力づくりのため	158	18.0%	18.2%	81.5%
	6	家庭や家族のため	78	8.9%	9.0%	90.5%
	7	地域や社会の役に立つため	38	4.3%	4.4%	94.9%
	8	人とのつきあいを豊かにするため	35	4.0%	4.0%	98.9%
	9	その他	10	1.1%	1.2%	100.1%
合計		868	98.9%	100.1%		
欠損値	0	無回答	9	1.0%		
合計			877	99.9%		

問7-① あなたが家の外で学習活動をするとしたら、どの時間帯が都合がいいですか。—平日の場合—

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	平日の午前中	182	20.8%	21.3%	21.3%
	2	平日の午後	125	14.3%	14.7%	36.0%
	3	平日の夕方以降	306	34.9%	35.9%	71.9%
	4	時間は決まっていない	240	27.4%	28.1%	100.0%
合計		853	97.4%	100.0%		
欠損値	0	無回答	24	2.7%		
合計			877	100.1%		

問7-② あなたが家の外で学習活動をするとしたら、どの時間帯が都合がいいですか。一休日の場合

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	休日の午前中	287	32.7%	34.0%	34.0%
	2	休日の午後	212	24.2%	25.1%	59.1%
	3	休日の夕方以降	47	5.4%	5.6%	64.7%
	4	時間は決まっていない	297	33.9%	35.2%	99.9%
	合計		843	96.2%	99.9%	
欠損値	0	無回答	34	3.9%		
	合計		877	100.1%		

問8 ふだんの生活の中で学習活動ができないと感じるのは、どのような理由があるときですか。(あてはまるものすべてに○)  
(※回答者 877 / 複数回答有)

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	仕事や学業が忙しくて時間がなかったとき	495	56.4%		
	2	家事や育児や介護で時間がとれなかったとき	282	32.2%		
	3	講座や教室などが開かれる時間が自分の都合にあわなかったとき	358	40.8%		
	4	希望する学びの内容がなかったとき	218	24.9%		
	5	一緒に学習する仲間が見つからないとき	89	10.1%		
	6	施設が身近になかったとき	272	31.0%		
	7	託児室やプレールームなどが準備されていなかったとき	27	3.1%		
	8	学びや活動に関する情報が手に入らなかったとき	156	17.8%		
	9	学びや活動に関する情報の入手先がわからなかったとき	105	12.0%		
	10	家族や職場の理解や協力が得られなかったとき	111	12.7%		
	11	学びや活動に必要な費用がなかったとき	306	34.9%		
	12	その他	13	1.5%		
	13	学びや活動することに興味が無い	48	5.5%		
	14	特に理由はない	65	7.4%		

問9 あなたは、ご自分の人生を豊かにするために、もっとこんな技術を身に付けたい、もっとこんなことを知りたいと感じることがありますか。(いずれか1つに○)

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	強く感じている	244	27.8%	28.2%	28.2%
	2	やや感じている	468	53.4%	54.1%	82.3%
	3	あまり感じていない	135	15.4%	15.6%	97.9%
	4	全く感じていない	18	2.1%	2.1%	100.0%
	合計		865	98.7%	100.0%	
欠損値	0	無回答	12	1.4%		
	合計		877	100.1%		

問10-1 あなたが今後、学習活動をする場合、次の1から5のそれぞれについて、どの程度してみたいと思いますか。(それぞれ4段階のうち1つに○)

1 仕事に関する学習活動(仕事をする上で役に立つことや転職のためなど)

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とてもしてみたい	226	25.8%	28.5%	28.5%
	2	ややしてみたい	400	45.6%	50.5%	79.0%
	3	あまりしたくない	113	12.9%	14.3%	93.3%
	4	まったくしたくない	53	6.0%	6.7%	100.0%
	合計		792	90.3%	100.0%	
欠損値	0	無回答	85	9.7%		
	合計		877	100.0%		

問10-2 あなたが今後、学習活動をする場合、次の1から5のそれぞれについて、どの程度してみたいと思いますか。(それぞれ4段階のうち1つに○)

2 趣味に関する学習活動(習い事や練習など)

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とてもしてみたい	311	35.5%	38.2%	38.2%
	2	ややしてみたい	391	44.6%	48.0%	86.2%
	3	あまりしたくない	90	10.3%	11.1%	97.3%
	4	まったくしたくない	22	2.5%	2.7%	100.0%
	合計		814	92.9%	100.0%	
欠損値	0	無回答	63	7.2%		
	合計		877	100.1%		

問10-3 あなたが今後、学習活動をする場合、次の1から5のそれぞれについて、どの程度してみたいと思いますか。(それぞれ4段階のうち1つに○)

3 生活に関する学習活動(料理教室や健康、子育てに関することなど)

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	A	市	721	82.2%	86.9%	86.9%
	B	町または村	109	12.4%	13.1%	100.0%
	合計		830	94.6%	100.0%	
欠損値	0	無回答	47	5.4%		
合計			877	100.0%		

問10-4 あなたが今後、学習活動をする場合、次の1から5のそれぞれについて、どの程度してみたいと思いますか。(それぞれ4段階のうち1つに○)

4 社会貢献やボランティアに関する学習活動(地域の行事や子ども、障害者との交流など)

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とてもしてみたい	84	9.6%	10.7%	10.7%
	2	ややしてみたい	368	42.0%	47.1%	57.8%
	3	あまりしたくない	259	29.5%	33.1%	90.9%
	4	まったくしたくない	71	8.1%	9.1%	100.0%
	合計		782	89.2%	100.0%	
欠損値	0	無回答	95	10.8%		
合計			877	100.0%		

問10-5 あなたが今後、学習活動をする場合、次の1から5のそれぞれについて、どの程度してみたいと思いますか。(それぞれ4段階のうち1つに○)

5 その他

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	とてもしてみたい	9	1.0%	5.6%	5.6%
	2	ややしてみたい	39	4.4%	24.2%	29.8%
	3	あまりしたくない	56	6.4%	34.8%	64.6%
	4	まったくしたくない	57	6.5%	35.4%	100.0%
	合計		161	18.3%	100.0%	
欠損値	0	無回答	716	81.6%		
合計			877	99.9%		

問11-① あなたが家の外での学習活動に参加する場合に、重視することは何ですか。①、②、③についてそれぞれお答えください。(それぞれ1つずつに○)

① 場所や時間、費用等について

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	時期や時間帯が自分の都合に合っていること	509	58.0%	58.4%	58.4%
	2	交通の手段や駐車場が確保できること	57	6.5%	6.5%	64.9%
	3	無料であったり、少ない費用で済むこと	256	29.2%	29.4%	94.3%
	4	子どものためのプレールームや託児室があること	9	1.0%	1.0%	95.3%
	5	その他	4	0.5%	0.5%	95.8%
	6	特に要望はない	36	4.1%	4.1%	99.9%
	合計		871	99.3%	99.9%	
欠損値	0	無回答	6	0.7%		
合計			877	100.0%		

問11-② あなたが家の外での学習活動に参加する場合に、重視することは何ですか。①、②、③についてそれぞれお答えください。(それぞれ1つずつに○)

② 学びや活動の内容について

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	自分の職業・仕事に役立てられる内容であること	188	21.4%	21.6%	21.6%
	2	ふだんの家庭生活に役立つ内容であること	96	10.9%	11.0%	32.6%
	3	資格を取ることができる内容であること	79	9.0%	9.1%	41.7%
	4	自分自身を高められる内容であること	230	26.2%	26.4%	68.1%
	5	高度な専門知識を学ぶことができる内容であること	24	2.7%	2.8%	70.9%
	6	一般教養を深められる内容であること	26	3.0%	3.0%	73.9%
	7	気軽に参加でき簡単な内容であること	162	18.5%	18.6%	92.5%
	8	地域の役に立つことができる内容であること	21	2.4%	2.4%	94.9%
	9	その他	3	0.3%	0.3%	95.2%
	10	特に要望はない	42	4.8%	4.8%	100.0%
	合計		871	99.2%	100.0%	
欠損値	0	無回答	6	0.7%		
合計			877	99.9%		

問11-③ あなたが家の外での学習活動に参加する場合に、重視することは何ですか。①、②、③についてそれぞれお答えください。  
(それぞれ1つずつに○)

③ 学びや活動のしかたについて

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント	
有効	1	実習・実技・視察などを体験することができる機会が多いこと	301	34.3%	34.7%	34.7%
	2	参加者同士がお互いに交流できる機会が設けられていること	145	16.5%	16.7%	51.4%
	3	学んだことを発表できる機会が設けられていること	4	0.5%	0.5%	51.9%
	4	講義や講演の形式で進められること	55	6.3%	6.3%	58.2%
	5	理解するまで質問を受けてくれたり、親身に対応してくれること	91	10.4%	10.5%	68.7%
	6	終了証や単位認定が受けられること	68	7.8%	7.8%	76.5%
	7	仕事をする上で有利な扱いを受けられること	73	8.3%	8.4%	84.9%
	8	その他	5	0.6%	0.6%	85.5%
	9	特に要望はない	125	14.3%	14.4%	99.9%
	合計	867	99.0%	99.9%		
欠損値	0	無回答	10	1.1%		
合計		877	100.1%			

問12 あなただけに限らず、多くの方々が講座や教室などの学習活動に参加するようになるためには、どのような仕組みがあればよいと思いますか。(○は3つまで) (※回答者877 / 複数回答有)

		度 数	パーセント
有効	1	仕事や家事等に影響が少ない、平日の早朝に開講する	30 3.4%
	2	仕事や家事等に影響が少ない、平日の夜間に開講する	133 15.2%
	3	仕事や家事等に影響が少ない、休日の日中に開講する	266 30.3%
	4	仕事や家事等に影響が少ない、休日の夜間に開講する	45 5.1%
	5	直前まで申し込みができたり、予約をしなくても受けられるようにする	351 40.0%
	6	身近な場所(公民館や集会所等)で実施する	328 37.4%
	7	託児室やプレールームなどを準備する	66 7.5%
	8	費用を無料または格安にする	511 58.3%
	9	学習活動のための休暇を取りやすしたり学業を軽減する	100 11.4%
	10	専門的な知識を得られるよう高等教育機関を利用しやすくする	68 7.8%
	11	内容をわかりやすく紹介したり情報を探しやすくする	241 27.5%
	12	その他	26 3.0%

問13-1 あなたは、次の1から5に関して、学んだり楽しんだりするために、どこから情報を手に入れていますか。(○はいくつでも) (※回答者877 / 複数回答有)

1 仕事に役立つ学びの機会や情報

		度 数	パーセント
有効	1	テレビ、ラジオ	232 26.5%
	2	新聞、チラシ	332 37.9%
	3	タウン誌、フリーペーパー	77 8.8%
	4	行政機関の広報誌	250 28.5%
	5	回覧板や掲示物	128 14.6%
	6	ホームページ	270 30.8%
	7	S N S (LINEやFacebook)	54 6.2%
	8	友人知人の口コミ	152 17.3%
	9	その他	69 7.9%

問13-2 あなたは、次の1から5に関して、学んだり楽しんだりするために、どこから情報を手に入れていますか。(○はいくつでも) (※回答者877 / 複数回答有)

2 趣味に関係する学びの機会や情報

		度 数	パーセント
有効	1	テレビ、ラジオ	272 31.0%
	2	新聞、チラシ	335 38.2%
	3	タウン誌、フリーペーパー	130 14.8%
	4	行政機関の広報誌	178 20.3%
	5	回覧板や掲示物	122 13.9%
	6	ホームページ	262 29.9%
	7	S N S (LINEやFacebook)	105 12.0%
	8	友人知人の口コミ	263 30.0%
	9	その他	30 3.4%

問13-3 あなたは、次の1から5に関して、学んだり楽しんだりするために、どこから情報を手に入れていますか。(〇はいくつでも)(※回答者877/複数回答有)

3 生活に役立つ学びの機会や情報

		度 数	パーセント
有効	1 テレビ、ラジオ	332	37.9%
	2 新聞、チラシ	353	40.3%
	3 タウン誌、フリーペーパー	117	13.3%
	4 行政機関の広報誌	247	28.2%
	5 回覧板や掲示物	148	16.9%
	6 ホームページ	211	24.1%
	7 SNS (LINEやFacebook)	68	7.8%
	8 友人知人の口コミ	154	17.6%
	9 その他	18	2.1%

問13-4 あなたは、次の1から5に関して、学んだり楽しんだりするために、どこから情報を手に入れていますか。(〇はいくつでも)(※回答者877/複数回答有)

4 地域の行事やイベントに関する情報

		度 数	パーセント
有効	1 テレビ、ラジオ	177	20.2%
	2 新聞、チラシ	293	33.4%
	3 タウン誌、フリーペーパー	103	11.7%
	4 行政機関の広報誌	404	46.1%
	5 回覧板や掲示物	403	46.0%
	6 ホームページ	129	14.7%
	7 SNS (LINEやFacebook)	45	5.1%
	8 友人知人の口コミ	147	16.8%
	9 その他	18	2.1%

問13-5 あなたは、次の1から5に関して、学んだり楽しんだりするために、どこから情報を手に入れていますか。(〇はいくつでも)(※回答者877/複数回答有)

5 社会貢献活動やボランティア活動に関する情報

		度 数	パーセント
有効	1 テレビ、ラジオ	144	16.4%
	2 新聞、チラシ	261	29.8%
	3 タウン誌、フリーペーパー	65	7.4%
	4 行政機関の広報誌	362	41.3%
	5 回覧板や掲示物	259	29.5%
	6 ホームページ	104	11.9%
	7 SNS (LINEやFacebook)	36	4.1%
	8 友人知人の口コミ	116	13.2%
	9 その他	30	3.4%

問14-① あなたは、ふだんの生活の中でスマートフォンやパソコン(タブレット型端末等を含む)、ゲーム機などを使用してインターネットを利用したり、ゲームをして楽しんだりしていますか。また、これらを利用するため、以前と比べて少なくなった時間はありますか。

① 1日平均インターネット利用時間(〇はひとつだけ)

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1 30分未満	181	20.6%	21.4%	21.4%
	2 30分以上、1時間未満	175	20.0%	20.7%	42.1%
	3 1時間以上、2時間未満	122	13.9%	14.4%	56.5%
	4 2時間以上、3時間未満	66	7.5%	7.8%	64.3%
	5 3時間以上、4時間未満	25	2.9%	3.0%	67.3%
	6 4時間以上	28	3.2%	3.3%	70.6%
	7 まったく利用しない(③への回答は不要)	250	28.5%	29.5%	100.1%
	合計	847	96.6%	100.1%	
欠損値	0 無回答	30	3.4%		
合計		877	100.0%		

問14-②

② 1日平均ゲームをする時間（○はひとつだけ）

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	30分未満	133	15.2%	15.8%	15.8%
	2	30分以上、1時間未満	80	9.1%	9.5%	25.3%
	3	1時間以上、2時間未満	57	6.5%	6.8%	32.1%
	4	2時間以上、3時間未満	18	2.1%	2.1%	34.2%
	5	3時間以上、4時間未満	8	0.9%	1.0%	35.2%
	6	4時間以上	7	0.8%	0.8%	36.0%
	7	まったく利用しない（③への回答は不要）	538	61.3%	64.0%	100.0%
	合計		841	95.9%	100.0%	
欠損値	0	無回答	36	4.1%		
合計			877	100.0%		

問14-③

③ 以前より少なくなった時間（○は2つまで）（※回答者617 / 複数回答有）

			度 数	パーセント
有効	1	睡眠時間	149	24.4%
	2	食事時間	13	2.1%
	3	仕事・学業・家事の時間	38	6.2%
	4	テレビを見たりラジオを聞く時間	240	38.9%
	5	新聞・雑誌を読む時間	103	16.7%
	6	読書の時間(新聞・雑誌以外)	153	24.8%
	7	学びや活動の時間(学業以外)	32	5.2%
	8	ボランティアや地域での活動の時間	20	3.2%
	9	交際や人づきあいの時間	124	20.1%
	10	その他	27	4.4%

問15 あなたは、仕事以外のボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動などに関心がありますか。（いずれか1つに○）

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	非常に関心がある	73	8.3%	8.4%	8.4%
	2	ある程度関心がある	405	46.2%	46.4%	54.8%
	3	あまり関心がない	308	35.1%	35.3%	90.1%
	4	まったく関心がない	86	9.8%	9.9%	100.0%
	合計		872	99.4%	100.0%	
欠損値	0	無回答	5	0.6%		
合計			877	100.0%		

問16 あなたは、仕事以外でボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動などをしていますか。（いずれか1つに○）

			度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1	している →（問17～問20にお答えいただき、その後問22に進む）	186	21.2%	21.3%	21.3%
	2	していない →（ここから問21へ飛んで回答し、その後問22に進む）	688	78.4%	78.7%	100.0%
	合計		874	99.6%	100.0%	
欠損値	0	無回答	3	0.3%		
合計			877	99.9%		

問17 あなたは、仕事以外で、どのようなボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動をしていますか。（あてはまるものすべてに○）（※回答者186 / 複数回答有）

			度 数	パーセント
有効	1	高齢者や障害をもつ方の手助けなど福祉に関する活動	17	9.1%
	2	家庭教育・子育て支援・読み聞かせ活動	11	5.9%
	3	男女共同参画に関することや人権をまもる活動	3	1.6%
	4	子どもの健全育成やPTA活動・学校を支援する活動	45	24.2%
	5	地域づくり・まちづくりに関する活動	41	22.0%
	6	文化、芸術、伝統芸能、観光に関する活動	28	15.1%
	7	スポーツ、レクリエーションに関する活動	32	17.2%
	8	清掃、環境保護・保全活動	56	30.1%
	9	町内会・自治会・消防団などの地域での活動	75	40.3%
	10	防犯・交通安全運動	11	5.9%
	11	災害救援・安全・防災に関する活動	11	5.9%
	12	地域のお祭りや行事	63	33.9%
	13	国際交流・協力・親善活動	7	3.8%
	14	その他	7	3.8%

問18 ボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動に参加したきっかけはなんですか。(あてはまるものすべてに○) (※回答者186 / 複数回答有)

		度 数	パーセント
有効	1	12	6.5%
	2	18	9.7%
	3	81	43.5%
	4	64	34.4%
	5	22	11.8%
	6	52	28.0%
	7	11	5.9%
	8	20	10.8%

問19 あなたがボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動に参加している目的はなんですか。(あてはまるものすべてに○) (※回答者186 / 複数回答有)

		度 数	パーセント
有効	1	12	6.5%
	2	30	16.1%
	3	39	21.0%
	4	100	53.8%
	5	37	19.9%
	6	24	12.9%
	7	31	16.7%
	8	29	15.6%
	9	23	12.4%

問20 あなたは、ボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動をして、どのような成果を得られましたか。(あてはまるものすべてに○) (※回答者186 / 複数回答有)

		度 数	パーセント
有効	1	123	66.1%
	2	13	7.0%
	3	19	10.2%
	4	52	28.0%
	5	69	37.1%
	6	44	23.7%
	7	50	26.9%
	8	43	23.1%
	9	53	28.5%
	10	10	5.4%

問21 ボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動に参加していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○) (※回答者688 / 複数回答有)

		度 数	パーセント
有効	1	322	46.8%
	2	257	37.4%
	3	68	9.9%
	4	52	7.6%
	5	130	18.9%
	6	101	14.7%
	7	165	24.0%
	8	130	18.9%
	9	68	9.9%

問22 あなたは、県の教育委員会が、県民のみなさまの学習活動や地域での活動、社会貢献活動を支援していく上で、今後どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○) (※回答者877 / 複数回答有)

		度 数	パーセント
有効	1	443	50.5%
	2	207	23.6%
	3	361	41.2%
	4	367	41.8%
	5	216	24.6%
	6	156	17.8%
	7	197	22.5%
	8	115	13.1%
	9	146	16.6%
	10	210	23.9%
	11	198	22.6%
	12	334	38.1%
	13	287	32.7%

## 学習活動に関する県民の意識調査

## 【アンケート調査へご協力をお願い】

青森県教育委員会では、時代の変化とともに県民のみなさまの生活様式も変化し、行政に対する要求も変化していると考えています。

この調査では、学習活動\*やボランティア活動、地域での活動や社会貢献活動に関して、みなさまがお考えになっていることや望んでいることを把握し、県や市町村がどのような行政サービスをおこなえばよいのかを考えるための資料として活用させていただきます。

※「学習活動」とは？ この調査で使用する「学習活動」という言葉の意味は、お一人お一人が、ご自身の人生を豊かにするために見聞を広めたり、技術を向上させたりするために行う活動のことをいいます。

例えば、自分から進んで行う学びや勉強、趣味や習い事、暮らしに役立つ知識を得ること、ボランティア活動、大学や専門学校での公開講座やセミナー、公民館などでの学級や講演会に参加することが学習活動にあたります。

なお、この調査は「無記名」です。お答えいただいた方のお名前はわからないようにしますので、みなさまの率直なお考えをお聞かせください。調査結果は、今後の施策あるいは事業の参考とさせていただくとともに、青森県教育委員会のホームページ(<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/>)に掲載します。つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力をお願い申し上げます。

本調査は、青森県教育委員会が調査主体として実施するものです。[青森県教育委員会担当：生涯学習課 企画振興グループ 森田、伊藤 TEL017-734-9888]

アンケートの送付・回収等は、業務の一部委託により、「株式会社みちのく計画」が実施いたします。

## 【ご記入にあたって】

- 1 この調査は無記名です。(あなたのお名前を書くところはありません)
- 2 必ず、宛名のご本人がご回答くださるようお願いいたします。
- 3 回答は、この調査用紙に、直接、ご記入ください。

## 【ご返送のお願い】

お手数ですが、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、平成28年2月3日までにポストへ投かんしてくださいようお願いいたします。

この調査の対象者は、みなさまがお住まいの市町村の許可を得て、無作為に選ばせていただきました。

## 【調査内容に関するお問い合わせ先】

株式会社 みちのく計画

〒030-0947 青森市浜館一丁目14番地3

担当者：平尾、浅利 TEL 017-765-1311 受付：平日9:00～17:00



●次に、ご回答いただく方の学習活動の様子や意欲、希望についてお伺いします。

**問5** あなたは、この1年間に学習活動をしましたか。次の1から5のそれぞれの分野ごとにお答えください。(どちらかに○)

- |  |             |
|--|-------------|
| 1 仕事に関する学習活動<仕事をする上で役に立つことや転職のためなど>        | した・しなかった    |
| 2 趣味に関する学習活動<習い事や練習など>                     | した・しなかった    |
| 3 生活に関する学習活動<料理教室や健康、子育てに関することなど>          | した・しなかった    |
| 4 社会貢献やボランティアに関する学習活動<地域の行事や子ども、障害者との交流など> | した・しなかった    |
| 5 その他                                      | した( )・しなかった |

**問6** あなたがもっとも力を入れて行った学習活動の目的は何ですか。なお、この1年間に学習活動をしなかった方は、することを想像して答えてください。(いずれか1つに○)

- |                         |
|-------------------------|
| 1 職業や仕事に役立てるため          |
| 2 より高い学歴や学位を得るため        |
| 3 仕事以外の幅広い知識や教養を身につけるため |
| 4 趣味に役立てるため             |
| 5 健康や体力づくりのため           |
| 6 家庭や家族のため              |
| 7 地域や社会の役に立つため          |
| 8 人とのつきあいを豊かにするため       |
| 9 その他( )                |

**問7** あなたが家の外で学習活動をするとしたら、どの時間帯が都合がいいですか。

①、②についてお答えください。(それぞれ1つずつに○)

①平日の場合について

- |              |
|--------------|
| 1 平日の午前中     |
| 2 平日の午後      |
| 3 平日の夕方以降    |
| 4 時間は決まっていない |

②休日の場合について

- |              |
|--------------|
| 1 休日の午前中     |
| 2 休日の午後      |
| 3 休日の夕方以降    |
| 4 時間は決まっていない |

※「休日の場合」とは、土曜・日曜のことではなく、あなたが自由に過ごせる休みの日として考えてください。

**問8** ふだんの生活の中で学習活動ができないと感じるのは、どのような理由があるときですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 仕事や学業が忙しくて時間がなかったとき           |
| 2 家事や育児や介護で時間がとれなかったとき          |
| 3 講座や教室などが開かれる時間が自分の都合にあわなかったとき |
| 4 希望する学びの内容がなかったとき              |
| 5 一緒に学習する仲間が見つからないとき            |
| 6 施設が身近になかったとき                  |
| 7 託児室やプレールームなどが準備されていなかったとき     |
| 8 学びや活動に関する情報が手に入らなかったとき        |
| 9 学びや活動に関する情報の入手先がわからなかったとき     |
| 10 家族や職場の理解や協力が得られなかったとき        |
| 11 学びや活動に必要な費用がなかったとき           |
| 12 その他( )                       |
| 13 学びや活動をすることに興味がない             |
| 14 特に理由はない                      |

**問9** あなたは、ご自分の人生を豊かにするために、もっとこんな技術を身に付けたい、もっとこんなことを知りたいと感じることがありますか。(いずれか1つに○)

- 1 強く感じている    2 やや感じている    3 あまり感じていない    4 全く感じていない

**問10** あなたが今後、学習活動をする場合、次の1から5のそれぞれについて、どの程度してみたいと思いますか。(それぞれ4段階のうち1つに○)

- 1 仕事に関する学習活動(仕事をする上で役に立つことや転職のためなど)  
とでもしてみたい・ ややしてみたい・ あまりしたくない・ まったくしたくない
- 2 趣味に関する学習活動(習い事や練習など)  
とでもしてみたい・ ややしてみたい・ あまりしたくない・ まったくしたくない
- 3 生活に関する学習活動(料理教室や健康、子育てに関する事など)  
とでもしてみたい・ ややしてみたい・ あまりしたくない・ まったくしたくない
- 4 社会貢献やボランティアに関する学習活動(地域の行事や子ども、障害者との交流など)  
とでもしてみたい・ ややしてみたい・ あまりしたくない・ まったくしたくない
- 5 その他( )  
とでもしてみたい・ ややしてみたい・ あまりしたくない・ まったくしたくない

**問11** あなたが家の外での学習活動に参加する場合に、重視することは何ですか。

①、②、③についてそれぞれお答えください。(それぞれ1つずつに○)

**①場所や時間、費用等について**

- 1 時期や時間帯が自分の都合にあっていること  
2 交通の手段や駐車場が確保できること  
3 無料であったり、少ない費用で済むこと  
4 子どものためのプレールームや託児室があること  
5 その他( )  
6 特に要望はない

**②学びや活動の内容について**

- 1 自分の職業・仕事に役立てられる内容であること  
2 ふだんの家庭生活に役立つ内容であること  
3 資格を取ることができる内容であること  
4 自分自身を高められる内容であること  
5 高度な専門知識を学ぶことができる内容であること  
6 一般教養を深められる内容であること  
7 気軽に参加でき簡単な内容であること  
8 地域の役に立つことができる内容であること  
9 その他( )  
10 特に要望はない

**③学びや活動のしかたについて**

- 1 実習・実技・視察などを体験することができる機会が多いこと  
2 参加者同士がお互いに交流できる機会が設けられていること  
3 学んだことを発表できる機会が設けられていること  
4 講義や講演の形式で進められること  
5 理解するまで質問を受けてくれたり、親身に対応してくれること  
6 終了証や単位認定が受けられること  
7 仕事をする上で有利な扱いを受けられること  
8 その他( )  
9 特に要望はない

**問 1 2** あなただけに限らず、多くの方々が講座や教室などの学習活動に参加するようになるためには、どのような仕組みがあればよいと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 仕事や家事等に影響が少ない、平日の早朝に開講する
- 2 仕事や家事等に影響が少ない、平日の夜間に開講する
- 3 仕事や家事等に影響が少ない、休日の日中に開講する
- 4 仕事や家事等に影響が少ない、休日の夜間に開講する
- 5 直前まで申し込みができたり、予約をしなくても受けられるようにする
- 6 身近な場所（公民館や集会所等）で実施する
- 7 託児室やプレールームなどを準備する
- 8 費用を無料または格安にする
- 9 学習活動のための休暇を取りやすくしたり学業を軽減する
- 10 専門的な知識を得られるよう高等教育機関を利用しやすくする
- 11 内容をわかりやすく紹介したり情報を探しやすくする
- 12 その他 ( )

**●次に、ご回答いただく方が、情報とどのように接しているかお伺いします。**

**問 1 3** あなたは、次の1から5に関して、学んだり楽しんだりするために、どこから情報を手に入れていますか。(〇はいくつでも)

		テレビ ラジオ	新聞 チラシ	タウン誌 クーポン	行政機関 の広報誌	回覧板や 掲示物	ホーム ページ	SNS (LINEや Facebook)	友人知人 のロコミ	その他
1	仕事に役立つ 学びの機会や情報									
2	趣味に関係する 学びの機会や情報									
3	生活に役立つ 学びの機会や情報									
4	地域の行事やイベントに 関する情報									
5	社会貢献活動やボラン ティア活動に関する情報									

**問 1 4** あなたは、ふだんの生活の中でスマートフォンやパソコン（タブレット型端末等を含む）、ゲーム機などを使用してインターネットを利用したり、ゲームをして楽しんだりしていますか。また、これらを利用するため、以前と比べて少なくなった時間は何ですか。

<p>① 1日平均インターネット利用時間 (〇はひとつだけ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 30分未満</li> <li>2 30分以上、1時間未満</li> <li>3 1時間以上、2時間未満</li> <li>4 2時間以上、3時間未満</li> <li>5 3時間以上、4時間未満</li> <li>6 4時間以上</li> <li>7 まったく利用しない</li> </ol>	<p>② 1日平均ゲームをする時間 (〇はひとつだけ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 30分未満</li> <li>2 30分以上、1時間未満</li> <li>3 1時間以上、2時間未満</li> <li>4 2時間以上、3時間未満</li> <li>5 3時間以上、4時間未満</li> <li>6 4時間以上</li> <li>7 まったく利用しない</li> </ol>	<p>③ 以前より少なくなった時間 (〇は2つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 睡眠時間</li> <li>2 食事時間</li> <li>3 仕事・学業・家事の時間</li> <li>4 テレビを見たりラジオを聞く時間</li> <li>5 新聞・雑誌を読む時間</li> <li>6 読書の時間(新聞・雑誌以外)</li> <li>7 学びや活動の時間(学業以外)</li> <li>8 ボランティアや地域での活動の時間</li> <li>9 交際や人づきあいの時間</li> <li>10 その他 ( )</li> </ol>
--	---	--

※①、②の両方も「7 まったく利用しない」場合は、③への回答は不要です

●次に、地域の活動や社会貢献、ボランティア活動についてお伺いします。

**問 15** あなたは、仕事以外のボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動などに関心がありますか。(いずれか1つに○)

- 1 非常に関心がある
- 2 ある程度関心がある。
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない

**問 16** あなたは、仕事以外でボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動などをしていますか。(いずれか1つに○)

- 1 している → (問17、問18、問19、問20にお答えいただき、その後問22に進む)
- 2 していない → (ここから問21へ飛んで回答し、その後問22に進む) -----

**問 17** <問16で「1している」に○の方だけご回答ください>あなたは、仕事以外で、どのようなボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 高齢者や障害をもつ方の手助けなど福祉に関する活動
- 2 家庭教育・子育て支援・読み聞かせ活動
- 3 男女共同参画に関することや人権をまもる活動
- 4 子どもの健全育成やPTA活動・学校を支援する活動
- 5 地域づくり・まちづくりに関する活動
- 6 文化、芸術、伝統芸能、観光に関する活動
- 7 スポーツ、レクリエーションに関する活動
- 8 清掃、環境保護・保全活動
- 9 町内会・自治会・消防団などの地域での活動
- 10 防犯・交通安全運動
- 11 災害救援・安全・防災に関する活動
- 12 地域のお祭りや行事
- 13 国際交流・協力・親善活動
- 14 その他 ( )

**問 18** <問16で「1している」に○の方だけご回答ください>ボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動に参加したきっかけはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 県や市町村の広報やチラシ、ホームページ等を見て興味を持った
- 2 活動をしている団体の広報やチラシ、ホームページ等を見て興味を持った
- 3 活動の主体となっている人から参加を要請された (誘われた)
- 4 自治会や町内会に誘われた
- 5 自治会や町内会の回覧板や掲示板、チラシ等を見て興味を持った
- 6 友人・知人に誘われた
- 7 家族に勧められた
- 8 その他 ( )

(次ページ問19へ)

(次ページ問21へ)

↓

**問19**

〈問16で「1している」に〇の方だけご回答ください〉あなたがボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動に参加している目的はなんですか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1 職業や仕事に役立つ経験を得られると思うから
- 2 職業や仕事に役立つ人脈をつくらることができると思うから
- 3 持っている資格や趣味、特技を活かしたいから
- 4 地域をにぎやかにしたり、地域の役に立ちたいから
- 5 もともと興味や関心を持っていて、具体的な行動をしたいと思ったから
- 6 生きがいを見つけたいから
- 7 日常生活に変化が欲しいから
- 8 体力づくりや健康づくりになると思うから
- 9 その他 ( )

↓

**問20**

〈問16で「1している」に〇の方だけご回答ください〉あなたは、ボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動をして、どのような成果を得られましたか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1 友人や仲間が増え、人との交流が増えた
- 2 家庭生活が充実するようになった
- 3 自分に自信が持てるようになった
- 4 人間性が豊かになった
- 5 地域で困っていることや問題になっていることへの理解が深まった
- 6 自分の技術や経験を生かすことができた
- 7 地域への愛着が深まった
- 8 ボランティア活動や地域活動、社会貢献活動への参加意欲が高まった
- 9 満足感や充実感を得ることができた
- 10 その他 ( )

←

**問21**

〈問16で「2していない」に〇の方だけご回答ください〉ボランティアや地域での活動・社会の役に立つ活動に参加していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1 仕事が忙しい
- 2 家庭のことで忙しい
- 3 友人や知人などからの誘いがない
- 4 人間関係や近所づきあいを広げたくない
- 5 何かしらの責任や役目を負わされたくはない
- 6 広報やチラシなどの情報が届かない(見逃している)
- 7 近くに興味のある活動がない
- 8 そもそもボランティアや地域活動・社会貢献活動に興味がない
- 9 その他 ( )

↓

(次ページ問22へ進む)

●最後は、県教育委員会に対する意見をお伺いします。

※すべての方にお伺いします。

**問 2 2** あなたは、県の教育委員会が、県民のみなさまの学習活動や地域での活動、社会貢献活動を支援していく上で、今後どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 子どもたちの自然体験や職業体験の充実
- 2 子どもの読書や図書館サービスの充実
- 3 地域全体で子どもを育む活動の充実
- 4 子育てや家庭教育の支援の充実
- 5 地域活動の実践者やリーダー、コーディネーター（まとめ役や調整役）の育成
- 6 地域活動に関わる人財や団体のネットワークの形成
- 7 大学や企業、NPO等の関係機関と連携した多様な学習活動の支援
- 8 ICT（情報通信技術）を活用した多様な学習活動の支援
- 9 学習成果を生かした社会参加活動の支援
- 10 社会教育施設の整備や機能の充実
- 11 生涯学習・社会教育を担当する職員の能力向上
- 12 知識・技術・経験や人脈を効果的に地域社会に生かす方策の充実
- 13 性別や障害の有無による差別のない社会を作るための学びの機会の提供

大変お疲れ様でした。調査はこれで終了です。

お手数をおかけいたしますが、記入の終わった調査用紙は同封の返信用封筒に入れ、ポストへ投かんしていただくようお願いします。

(切手は不要です)

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

平成27年度 生涯学習・社会教育総合調査研究事業  
学習活動に関する県民の意識調査 報告書

発行年月日	平成28年3月
編集・発行	青森県教育庁生涯学習課 〒030-8540 青森市新町二丁目3番1号 TEL 017-722-1111 (内5195) FAX 017-734-8272 <a href="http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/aomorimanabi-e_shogai.html">http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/aomorimanabi-e_shogai.html</a>
調査・分析委託先	株式会社みちのく計画 〒030-0947 青森市浜館一丁目14番地3 TEL 017-765-1311 FAX 017-744-1311
印刷	青森コロニー印刷 〒030-0943 青森市幸畑字松元62 TEL 017-738-2021 FAX 017-738-6753

